

8.4 スポーツ施設

8.4.1 施設概要と課題等

本市では、市民の心身の健康と体力の維持増進、豊かで充実した日常生活の実現に寄与することを目的にスポーツ施設を設置運営しています。

体育館 4 施設、野球場 2 施設、庭球場 10 施設、武道館 2 施設、緑地公園内 7 施設（陸上競技場、ソフトボール球場、サッカー場、アーチェリー場、補助競技場等）、運動場 18 施設、プール 7 施設、その他（小・中学校開放体育施設）6 施設のスポーツ施設を整備しています。

施設全体を管轄する管理棟を有さないものや、日中の利用に限られる屋外施設は、光熱水費等の経費もさほど要さず、比較的管理コストが低い状態です。

スポーツ施設は、身近にあり市民の健康や生きがいづくりの場として使われるものや、市域を超えた広域施設として、競技会やコンベンションなどが開催され、市のシンボルとなる施設などがあります。また、災害時の一時的な避難所としての機能を有している施設もあります。一方で、平成 22 年度に実施された事業仕分けにおいて、不要と判断された休止中のプール（2 か所）などもあります。

表 8-9 施設一覧表(スポーツ施設)1/2

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	指標名(単位)	数量
1	総合スポーツセンター	周陽	1992	延床面積(㎡)	13,054
2	新南陽体育センター	富田西	1985	延床面積(㎡)	1,052
3	熊毛体育センター	勝間	1984	延床面積(㎡)	1,650
4	鹿野総合体育館	鹿野	1989	延床面積(㎡)	3,850
5	野球場	遠石	1971	グラウンド面積(㎡)	14,000
6	新南陽球場	福川	1972	グラウンド面積(㎡)	12,179
7	庭球場	周陽	2008	テニスコート面数(面)	19
8	高瀬サン・スポーツランド	和田	1992	テニスコート面数(面)	5
9	テニスコート (鶴いこいの里運動広場)	八代	1994	テニスコート面数(面)	2
10	鹿野庭球場	鹿野	1984	テニスコート面数(面)	2
11	二葉屋開作公園テニスコート	櫛浜	1978	テニスコート面数(面)	3
12	熊毛中央公園テニスコート	勝間	1978	テニスコート面数(面)	3
13	勝間ふれあい公園テニスコート	勝間	1987	テニスコート面数(面)	3
14	三丘徳修公園テニスコート	三丘	1991	テニスコート面数(面)	2
15	高水近隣公園テニスコート	高水	2013	テニスコート面数(面)	2
16	鹿野天神山公園(レクリエーションゾーン)	鹿野	1993	テニスコート面数(面)	1
17	福川武道館	福川	1990	延床面積(㎡)	315
18	熊毛武道館	勝間	1991	延床面積(㎡)	1,157
19	陸上競技場(緑地公園内)	遠石	1981	グラウンド面積(㎡)	28,000
20	ソフトボール球場(緑地公園内)	周陽	1971	グラウンド面積(㎡)	6,000
21	サッカー場(緑地公園内)	周陽	1990	グラウンド面積(㎡)	11,250
22	アーチェリー場(緑地公園内)	周陽	1991	グラウンド面積(㎡)	1,000
23	補助競技場(緑地公園内)	遠石	1972	グラウンド面積(㎡)	13,200
24	運動広場(緑地公園内)	周陽	1972	グラウンド面積(㎡)	27,480
25	身近な運動広場(緑地公園内)	周陽	1982	グラウンド面積(㎡)	1,500
26	市民黒岩グラウンド	秋月	2011	グラウンド面積(㎡)	14,800
27	鼓南地区総合運動場	鼓南	1981	グラウンド面積(㎡)	5,600
28	西徳山総合グラウンド	戸田	1982	グラウンド面積(㎡)	14,500

表 8-10 施設一覧表(スポーツ施設)2/2

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	指標名(単位)	数量
29	中須地区総合運動場	中須	1983	グラウンド面積(㎡)	9,150
30	須金地区総合運動場	須金	1985	グラウンド面積(㎡)	6,400
31	須々万・長穂地区総合運動場	須々万	1986	グラウンド面積(㎡)	6,450
32	久米地区総合運動場	久米	1990	グラウンド面積(㎡)	7,200
33	菊川総合グラウンド	菊川	2000	グラウンド面積(㎡)	7,200
34	市民グラウンド	富田西	1975	グラウンド面積(㎡)	19,390
35	新南陽浄化センターグラウンド	富田西	1985	グラウンド面積(㎡)	17,525
36	福川地区総合グラウンド	福川南	2012	グラウンド面積(㎡)	16,000
37	運動場(鶴いこいの里運動広場)	八代	1994	グラウンド面積(㎡)	10,000
38	熊毛中央公園運動場	勝間	1978	グラウンド面積(㎡)	8,000
39	勝間ふれあい公園運動場	勝間	1987	グラウンド面積(㎡)	5,000
40	三丘徳修公園運動場	三丘	1991	グラウンド面積(㎡)	5,000
41	高水近隣公園運動場	高水	2013	グラウンド面積(㎡)	5,000
42	鹿野山村広場	鹿野	1983	グラウンド面積(㎡)	10,000
43	鹿野ふれあいひろば	鹿野	1996	グラウンド面積(㎡)	1,100
44	水泳場(緑地公園内)	遠石	1972	プール水面面積(㎡)	1,650
45	新南陽プール	福川	1971	プール水面面積(㎡)	1,042
46	鹿野プール	鹿野	1974	プール水面面積(㎡)	998
47	永源山公園プール	富田東	1990	プール水面面積(㎡)	1,180
48	水泳プール(鶴いこいの里)	八代	1979	プール水面面積(㎡)	300
49	勝間街区公園プール	勝間	1971	プール水面面積(㎡)	200
50	高水街区公園プール	高水	1970	プール水面面積(㎡)	200
51	櫛浜小開放体育施設	櫛浜	2013	延床面積(㎡)	52
52	菊川小開放体育施設	菊川	1979	延床面積(㎡)	33
53	太華中開放体育施設	久米	2009	延床面積(㎡)	60
54	菊川中開放体育施設	菊川	2013	延床面積(㎡)	34
55	桜田中開放体育施設	戸田	2013	延床面積(㎡)	33
56	周陽中開放体育施設	周陽	1979	延床面積(㎡)	33
No.	白書時点から削減した施設	所在地区	建築年次	指標名(単位)	数量
	大河内プール(H26 解体)	大河内	1973	プール水面面積(㎡)	290

8.4.3 取組み方策の選定

【サービス提供の方向性】

スポーツ施設では、市民の心身の健康と体力の維持増進、豊かで充実した日常生活の実現に寄与するために必要なサービスを提供しており、その機能は維持します。

管理棟、照明など、機能を維持するためにコストがかかる設備については、受益者負担の見直しについても検討を行います。

広域から利用者が集まる競技会やコンベンションが開催される施設については、産業振興、観光誘致の視点からも、適切な機能維持を行いサービスの提供を維持するとともに、利用者の少ない施設や、民間、市有を問わず利用圏内で同種のサービスを提供できる場合は、統廃合、継続利用（規模縮小）、廃止についても検討します。

【建物の方向性】

スポーツ施設では、他の自治体において、複数の機能を持った施設が併設されている事例もあることから、建築から30年以上経過し、建物が老朽化している施設については、更新時に複合化について検討します。

保有量については、今後予測される人口減少に伴うスポーツの競技人口減少を踏まえて、統廃合、継続利用（規模縮小）、廃止を検討し保有量の適正化に努めます。

建築からの経過年数が30年未満で建物が比較的新しく、大規模な施設については、多目的化について検討します。

平成23年に開催された山口国体にあわせ更新や改修を行った施設については、今後は建物性能を維持するよう適切な管理を行うことで、施設の長寿命化を図っていきます。

災害時の避難所に指定されている施設は、定期的な検査や安全基準の見直しなどを行い、性能を維持するとともに、避難所としての機能が向上するよう、改修、更新時にその対応等を検討します。

【既に決定している計画等】

- ・大河内プール ⇒解体（平成26年度）
- ・高水街区公園プール ⇒解体（平成27年度）

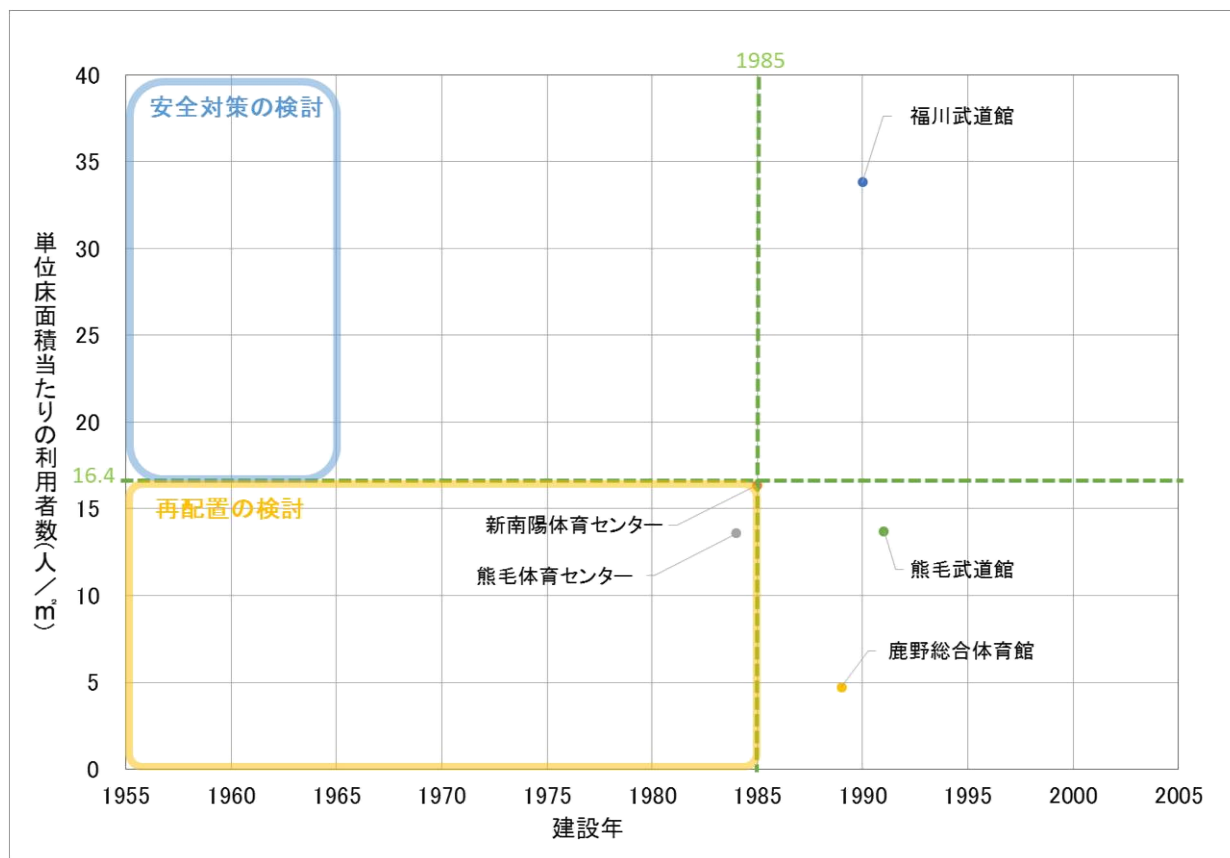
8.4.4 優先的に検討すべき施設の抽出

(1) 建物の方向性(建築経過年数)

- 「既存の建物を現状のままサービス提供に利用できるか」という視点。

【体育館、武道館(建築経過年数)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均単位床面積当たりの利用者数 ※(16.4 人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)

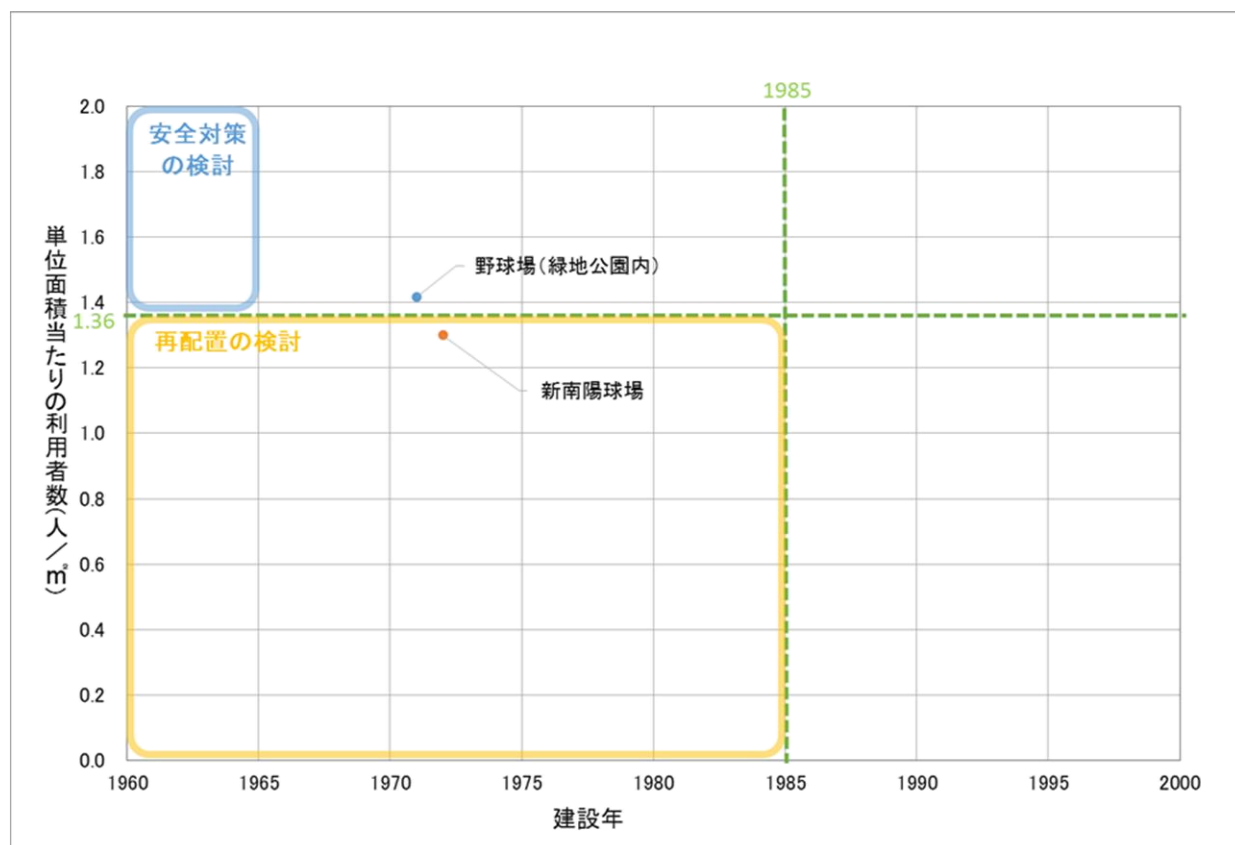


※体育館の閾値については、同類のサービスを提供している「武道場」の値と通算し、その平均値を用いる。

※「総合スポーツセンター(緑地公園内)」は本市の核となる広域施設であるため、検討の対象外とする。

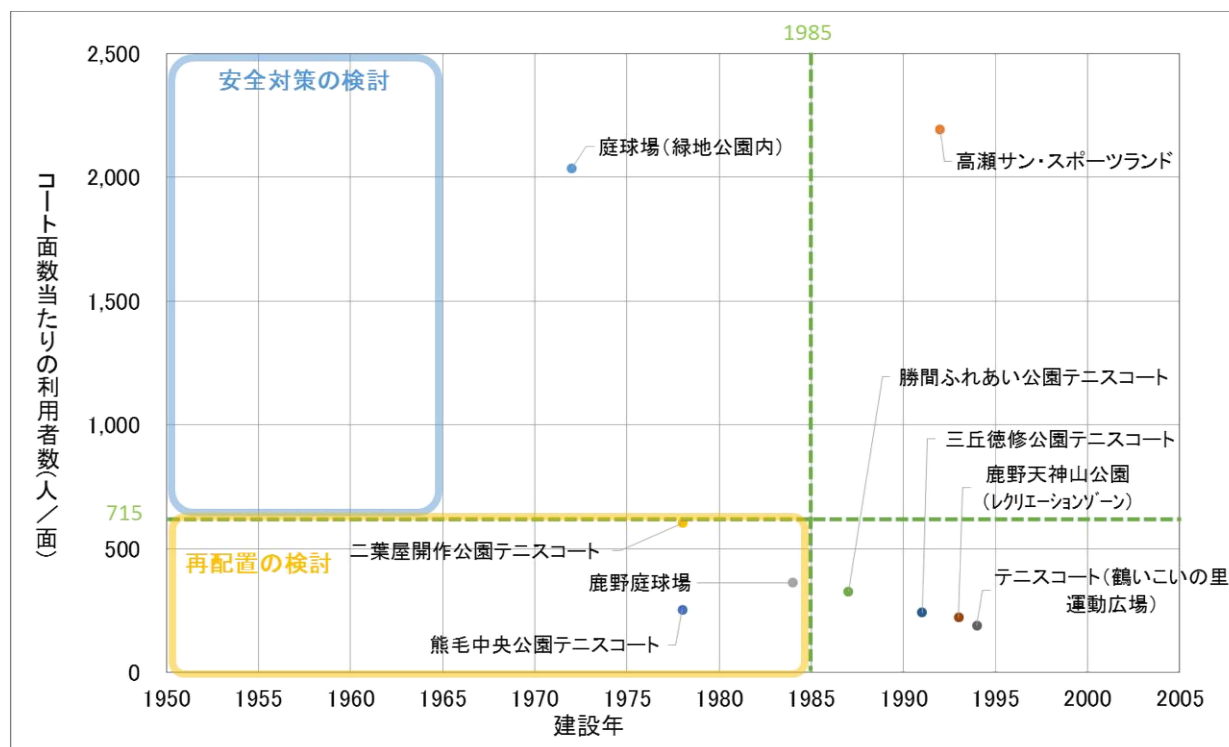
【野球場(建築経過年)】

指標名	内容
単位面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷グラウンド面積 サービス水準：関連施設の平均単位面積当たりの利用者数 ※(1.36 人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



【庭球場(建築経過年)】

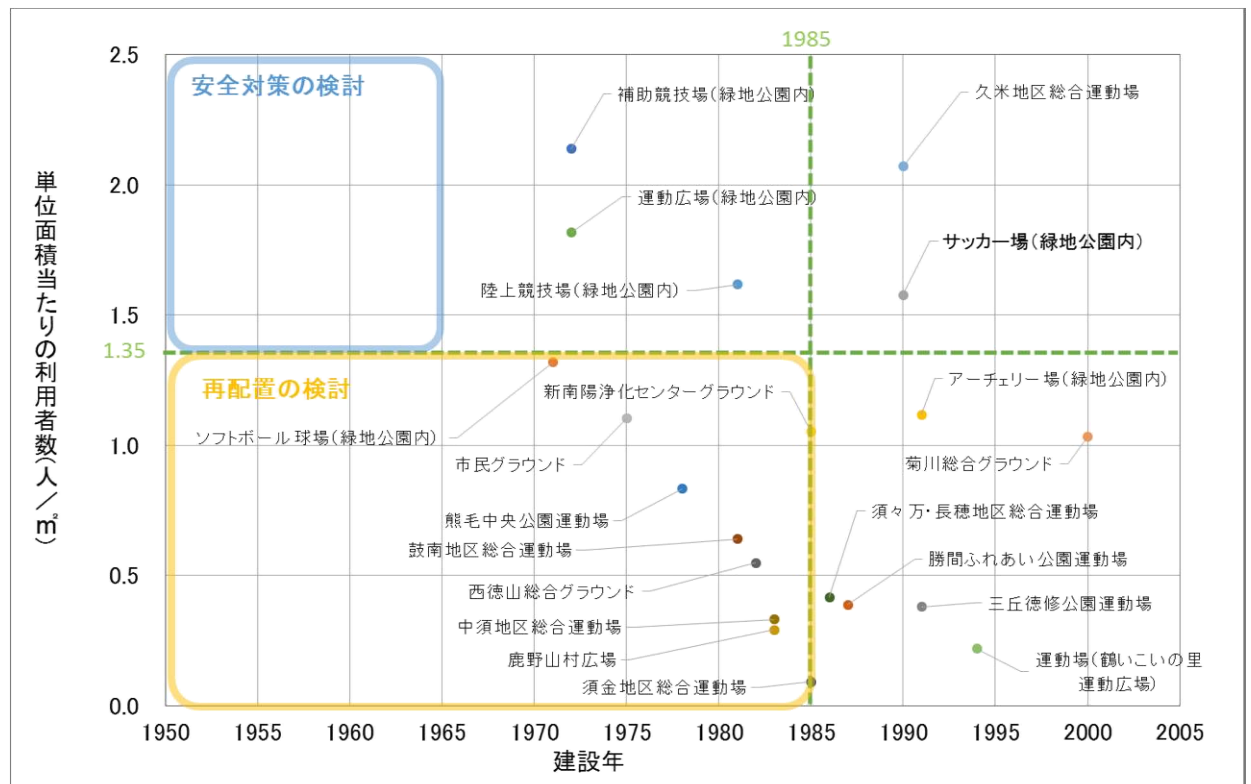
指標名	内容
コート面数当たりの利用者数(人/面)	利用者数÷コート面数 サービス水準：関連施設の平均コート面数当たりの利用者数 ※(715 人/面)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



※高水近隣公園テニスコートは、平成 25 年 4 月供用開始のため、検討から除外する。

【運動場(建築経過年)】

指標名	内容
単位面積当たりの利用者数 (人/㎡)	利用者数÷グラウンド面積 サービス水準：平均単位面積当たりの利用者数 (1.35 人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設 (1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設 (1985 年)



※高水近隣公園運動場は、平成 25 年 4 月供用開始のため、検討から除外する。

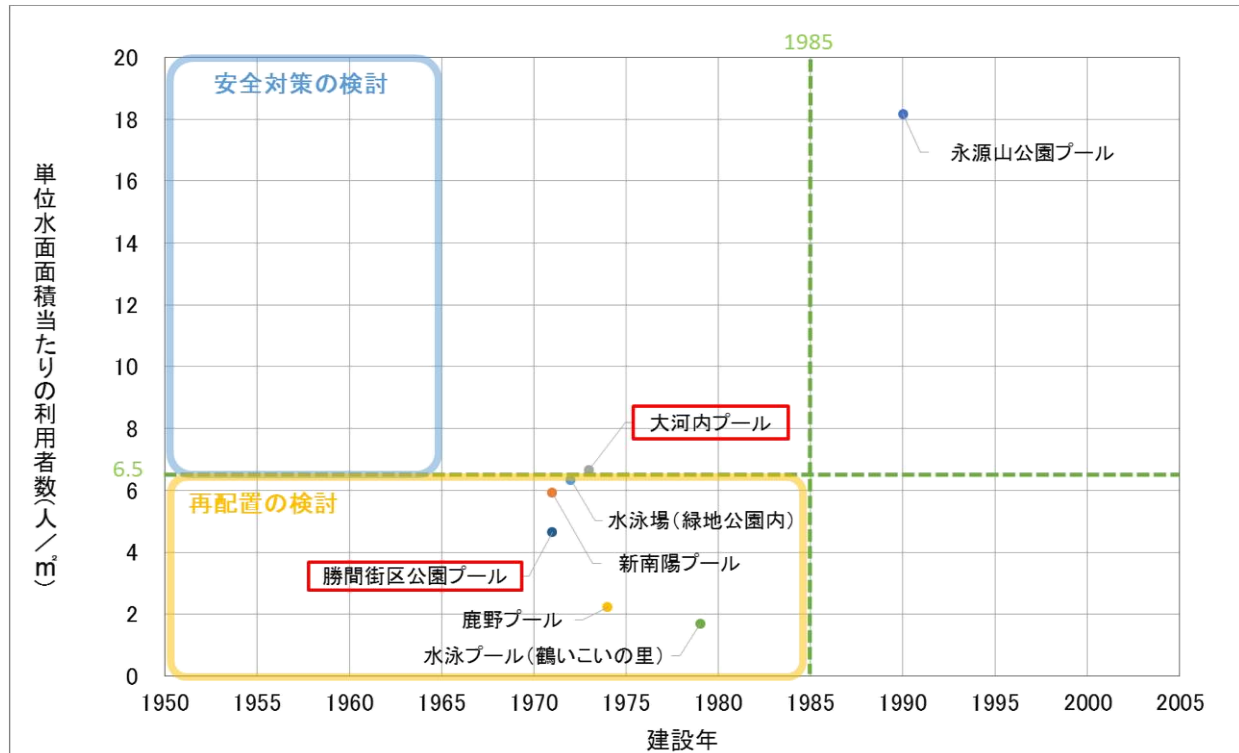
※身近な運動広場は、利用者数を把握していないため、検討から除外する。

※鹿野ふれあい広場は、単位面積当たりの利用者数が他の施設に比べて多いため上記グラフに表示されていないが、単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)は 11.3 で、単位面積当たりのコストは 0.8 千円であり、優先的に検討を行うべき施設ではない。

※福川地区総合グラウンドは、上記グラフに示されていないが、平成 24 年から運営が開始された施設で、単位面積当たりの利用者数(人/㎡)は 0.24 人/㎡であり、優先的に検討を行うべき施設対象ではない。

【プール(建築経過年)】

指標名	内容
単位水面面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷水面面積 サービス水準：関連施設の平均単位水面面積当たりの利用者数 ※(6.5 人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



※高水街区公園プールは利用実態がないため、検討から除外する。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・大河内プール ⇒解体(平成 26 年度)
- ・勝間街区公園プール ⇒休止

【スポーツその他】

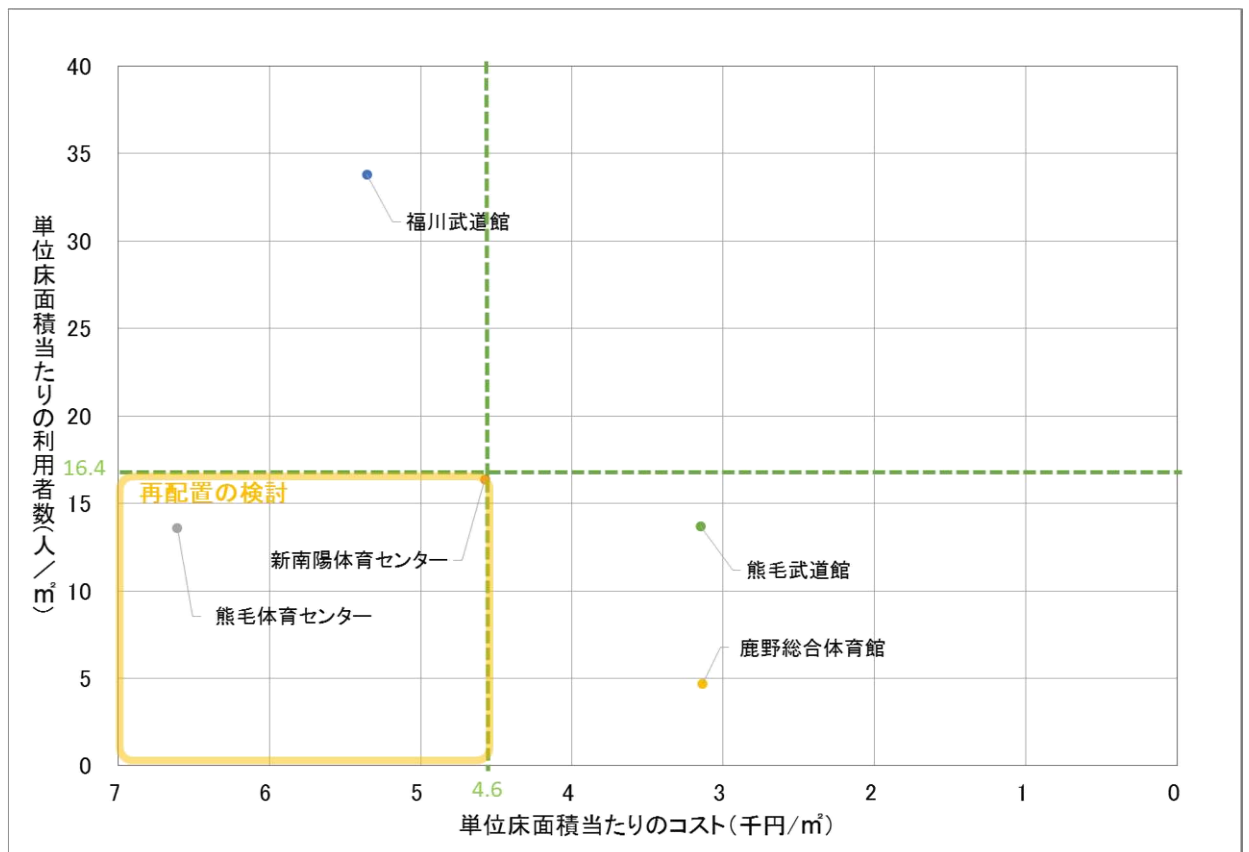
学校開放体育施設では、建物の方向性の視点から優先的に検討を行う必要のある施設はありません。

(2) サービスの方向性

- ・「既存の提供サービスを継続させることが妥当か」という視点

【体育館、武道館】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均単位床面積当たりの利用者数 ※（16.4 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（4.6 千円/㎡）

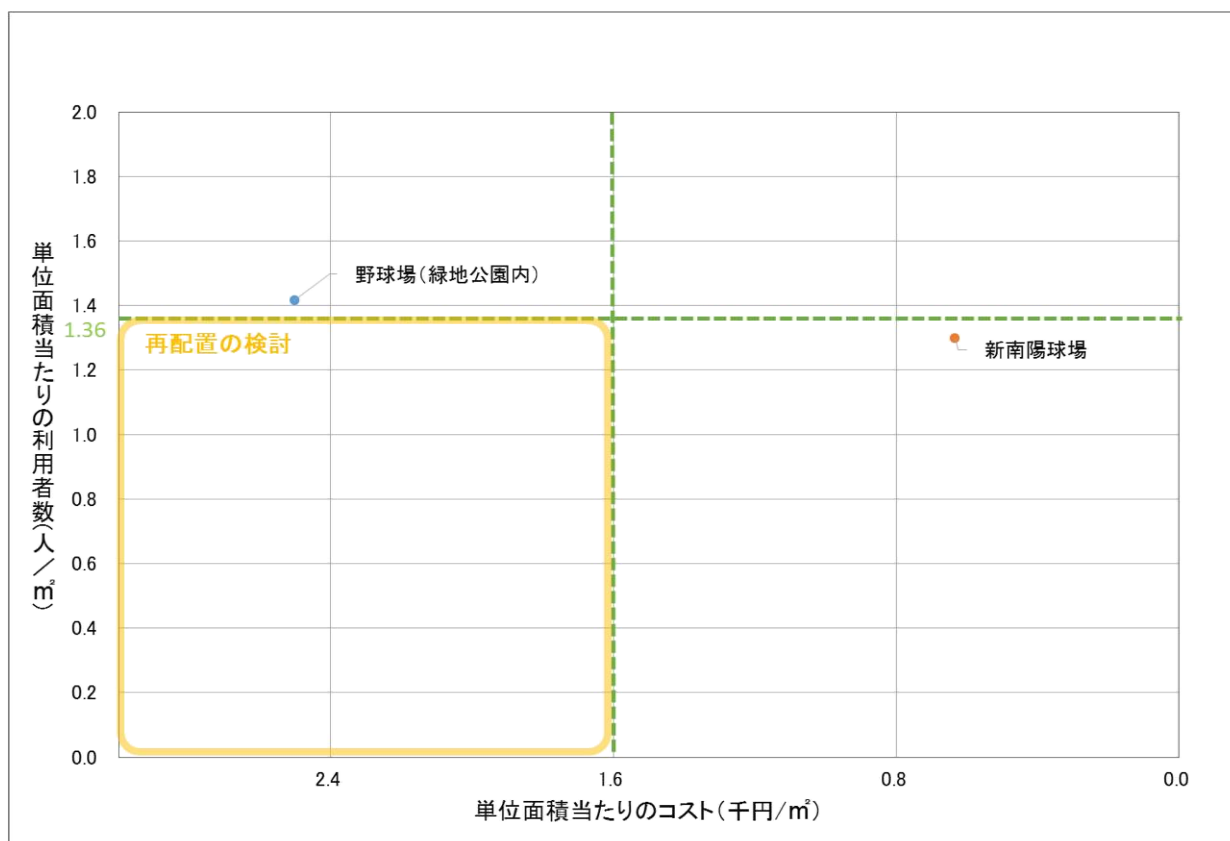


※体育館の閾値については、同類のサービスを提供している「武道場」の値と通算し、その平均値を用いる。

※「総合スポーツセンター（緑地公園内）」は本市の核となる広域施設であるため、検討の対象外とする。

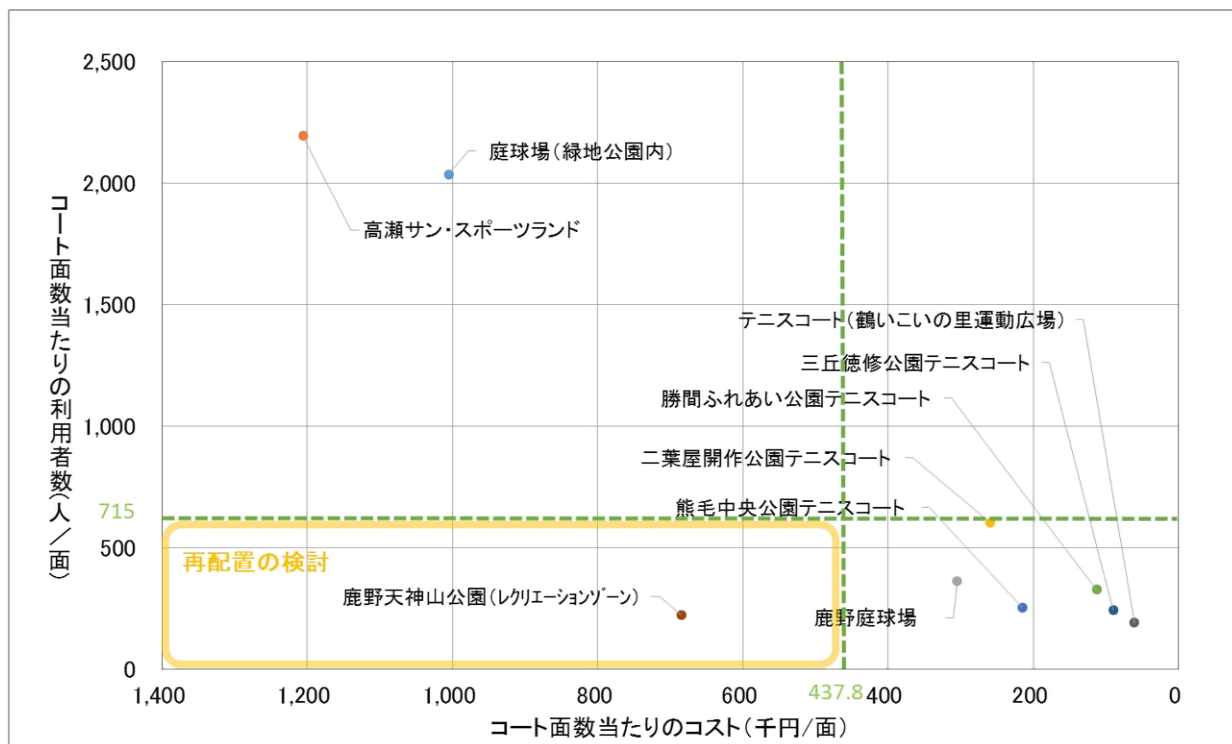
【野球場】

指標名	内容
単位面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷グラウンド面積 サービス水準：関連施設の平均単位面積当たりの利用者数 ※（1.36 人/㎡）
単位面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位面積当たりのコスト（1.6 千円/㎡）



【庭球場】

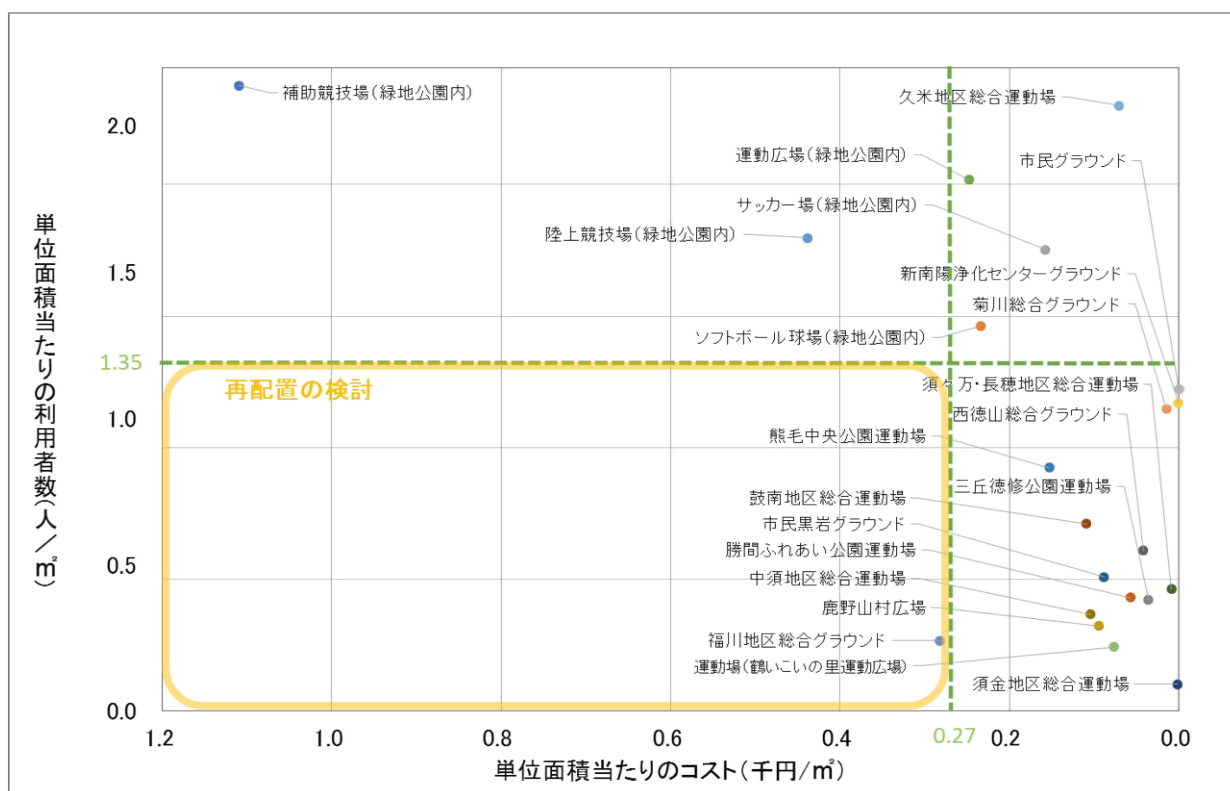
指標名	内容
コート面数当たりの利用者数（人/面）	利用者数÷コート面数 サービス水準：関連施設のコート 1 面当たりの平均利用者数 ※（715 人/面）
コート面数当たりのコスト（千円/面）	コート面数当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：コート面数当たりのコスト（437.8 千円/面）



※高水近隣公園テニスコートは、平成 25 年 4 月供用開始のため、検討から除外する。

【運動場】

指標名	内容
単位面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷グラウンド面積 サービス水準：平均単位面積当たりの利用者数（1.35 人/㎡）
単位面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位面積当たりのコスト（0.3 千円/㎡）



※高水近隣公園運動場は、平成 25 年 4 月供用開始のため、対象外とする。

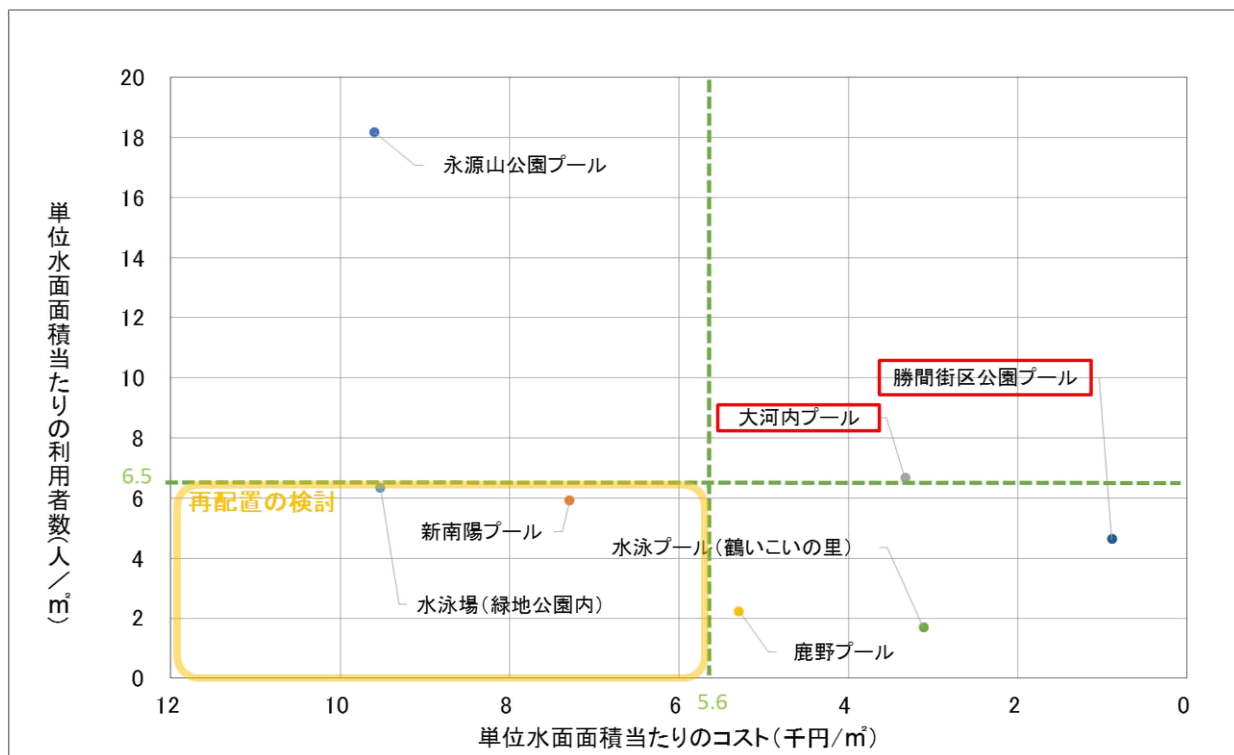
※身近な運動広場は、利用者数を把握していないため、対象外とする。

※アーチェリー場は、単位面積当たりのコストが他の施設に比べて高いため、上記グラフに示していないが、単位面積当たりの利用者数(人/㎡)は 1.23 人/㎡、単位面積当たりのコスト(千円/㎡)は 2.13 千円/㎡であり、優先的に検討を行うべき施設対象である。

※鹿野ふれあいひろばは、単位面積当たりの利用者数が他の施設に比べて多いため、上記グラフに示していないが、単位面積当たりの利用者数(人/㎡)は 11.3 人/㎡で、単位面積当たりのコスト(千円/㎡)は 0.8 千円/㎡であり、優先的に検討を行うべき施設対象ではない。

【プール】

指標名	内容
単位水面面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷水面面積 サービス水準：関連施設の平均単位水面面積当たりの利用者数 ※（6.5 人/㎡）
単位水面面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位水面面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位水面面積当たりのコスト（5.6 千円/㎡）



※高水街区公園プールは利用実態がないため、対象外とする。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・大河内プール ⇒解体（平成 26 年度）
- ・勝間街区公園プール ⇒休止

(3) 優先的に検討すべき施設

【優先的に検討すべき施設の抽出結果】

- ・◎：全 56 施設中、0 施設
- ・○：全 56 施設中、4 施設
- ・△：全 56 施設中、15 施設
- ・▲：全 56 施設中、3 施設

記号の見かたは 75 ページ参照（優先度：◎＞○＞△＞▲）

【体育館、武道館】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
1	総合スポーツセンター（緑地公園内）	－	－	－	－	－	－	－
2	新南陽体育センター		該当		該当			○
3	熊毛体育センター		該当		該当			○
4	鹿野総合体育館							
17	福川武道館							
18	熊毛武道館							

【野球場】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
5	野球場							
6	新南陽球場		該当					△

【庭球場】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービ スの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
7	庭球場							
8	高瀬サン・スポーツランド							
9	テニスコート(鶴いこいの里運動広場)							
10	鹿野庭球場		該当					△
11	二葉屋開作公園テニスコート		該当					△
12	熊毛中央公園テニスコート		該当					△
13	勝間ふれあい公園テニスコート							
14	三丘徳修公園テニスコート							
15	高水近隣公園テニスコート							
16	鹿野天神山公園(レクリエーションゾーン)				該当			▲

【運動場】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
19	陸上競技場(緑地公園内)							
20	ソフトボール球場(緑地公園内)		該当					△
21	サッカー場(緑地公園内)							
22	アーチェリー場(緑地公園内)				該当			▲
23	補助競技場(緑地公園内)							
24	運動広場(緑地公園内)							
25	身近な運動広場(緑地公園内)							
26	市民黒岩グラウンド							
27	鼓南地区総合運動場		該当					△
28	西徳山総合グラウンド		該当					△
29	中須地区総合運動場		該当					△
30	須金地区総合運動場		該当					△
31	須々万・長穂地区総合運動場							
32	久米地区総合運動場							
33	菊川総合グラウンド							
34	市民グラウンド		該当					△
35	新南陽浄化センターグラウンド		該当					△
36	福川地区総合グラウンド				該当			▲
37	運動場(鶴いこいの里運動広場)							
38	熊毛中央公園運動場		該当					△
39	勝間ふれあい公園運動場							
40	三丘徳修公園運動場							
41	高水近隣公園運動場							
42	鹿野山村広場		該当					△
43	鹿野ふれあいひろば							

【プール】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービ スの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is値		建設年	Is値	
44	水泳場(緑地公園内)		該当		該当			○
45	新南陽プール		該当		該当			○
46	鹿野プール		該当					△
47	永源山公園プール							
48	水泳プール(鶴いこいの里)		該当					△
49	勝間街区公園プール	有	-	-	-	-	-	-
50	高水街区公園プール	有	-	-	-	-	-	-
解体	大河内プール	有	-	-	-	-	-	-

【スポーツその他】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is値		建設年	Is値	
51	櫛浜小開放体育施設							
52	菊川小開放体育施設							
53	太華中開放体育施設							
54	菊川中開放体育施設							
55	桜田中開放体育施設							
56	周陽中開放体育施設							

8.5 こども関連施設

8.5.1 施設概要と課題等

(1) 幼稚園、保育所

本市では幼稚園、保育所として、26 施設を整備しています（幼稚園 8 施設、保育所 18 施設）。

近年は、全体的に幼稚園へのニーズが減少し、保育所へのニーズが増加する傾向にあります。幼稚園に関しては、公立幼稚園への入園者は減少しているのに対し、私立幼稚園にあっては、入園者は一定のまま推移しています。

運営面では、市立の幼稚園、保育所の管理運営は、全て直営で行っています。

表 8-11 施設一覧表(こども関連施設 幼稚園、保育所)

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
1	今宿幼稚園(H27.3 廃園)	今宿	1974	984
2	菊川幼稚園	菊川	1975	1,021
3	湯野幼稚園(H27.3 廃園)	湯野	1973	398
4	桜田幼稚園	戸田	1976	653
5	夜市幼稚園(H27.3 廃園)	夜市	1974	738
6	周栄幼稚園(H27.3 廃園)	周陽	1970	772
7	須々万幼稚園	須々万	1991	464
8	楠木幼稚園(H27.3 廃園)	秋月	1979	695
9	大津島幼稚園	大津島	1966	122
10	富田東幼稚園	富田東	1971	654
11	富田西幼稚園(H27.3 廃園)	富田西	1973	413
12	福川南幼稚園	福川南	1980	537
13	八代幼稚園	八代	1993	204
14	鹿野幼稚園	鹿野	1970	966
15	第一保育園	今宿	1968	465
16	第二保育園	今宿	1977	1,582
17	櫛浜保育園	櫛浜	1978	869
18	須々万保育園	須々万	1999	655
19	中須保育園	中須	1997	457
20	飯島保育園	徳山	1971	439
21	周央保育園	周陽	1972	697
22	尚白保育園	今宿	1976	657
23	大内保育園	周陽	1979	708
24	菊川保育園	菊川	1980	562
25	城ヶ丘保育園	桜木	1982	734
26	川崎保育園	富田東	1972	414
27	福川保育園	福川	1974	634
28	富田南保育園	富田東	1975	512
29	若山保育園	福川	1978	577
30	三丘保育園	三丘	1957	304
31	勝間保育園	勝間	1975	539
32	鹿野保育園	鹿野	1977	352

(2) 児童園、児童クラブ、児童館等

本市では、児童園、児童クラブ、児童館等について、42 施設を整備しています。また、児童クラブが設置されていない周辺部の小学校は、地域のボランティアによる「放課後子供教室」が開催されるなど、地域の手による放課後の居場所づくりが行われているところもあります。

少子化対策、子育て支援、良好な子どもの遊び場の確保という観点から、これらの子育て支援施設は重要なものとなっています。

児童園、児童館については指定管理者制度を採用しています。児童クラブは直営又は業務委託、子育て交流センターは直営となっています。

表 8-12 施設一覧表(こども関連施設 児童園、児童クラブ、児童館等) 1/2

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
33	鼓南児童園	鼓南	1968	15
34	長穂児童園	長穂	2002	229
35	尚白園児童館	今宿	1971	尚白園内 226
36	東福祉館児童館	久米	1972	東福祉館内 237
37	櫛浜児童館	櫛浜	1980	192
38	富田東児童館	富田東	2002	276
39	福川南児童館	福川南	2005	308
40	子育て交流センター	徳山	1970	315
41	周陽小校区児童クラブ A	周陽	1992	68
42	秋月小校区児童クラブ A	秋月	1991	65
43	桜木小校区児童クラブ A	桜木	1989	65
44	沼城小校区児童クラブ	須々万	1998	78
45	三丘児童クラブ	三丘	2005	106
46	勝間児童クラブ	勝間	2003	201
47	鹿野こどもすくすくセンター	鹿野	2000	106
48	徳山小校区児童クラブ A	徳山	1980	徳山小学校内 645
49	徳山小校区児童クラブ B	徳山	1962	徳山小学校余裕教室 66
50	岐山小校区児童クラブ A	岐山	1972	岐山小学校内 66
51	岐山小校区児童クラブ B	岐山	1972	岐山小学校余裕教室 68
52	遠石小校区児童クラブ A	遠石	1970	遠石小学校余裕教室 66
53	遠石小校区児童クラブ B	遠石	1970	遠石小学校余裕教室 66
54	周陽小校区児童クラブ B	周陽	1973	周陽小学校余裕教室 65
55	秋月小校区児童クラブ B	秋月	1975	秋月小学校余裕教室 66
56	久米小校区児童クラブ	久米	1972	久米小学校内 63
57	菊川小校区児童クラブ A	菊川	1973	菊川小学校余裕教室 64
58	菊川小校区児童クラブ B	菊川	1973	菊川小学校余裕教室 64
59	戸田小校区児童クラブ	戸田	1976	桜田幼稚園内 78
60	夜市小校区児童クラブ	夜市	1971	夜市小学校内 83
61	東福祉館児童クラブ	久米	1972	東福祉館内 85
62	櫛浜児童館児童クラブ	櫛浜	1980	櫛浜児童館内 75
63	櫛浜小校区児童クラブ	櫛浜	1969	櫛浜小学校余裕教室 50
64	富田東児童クラブ	富田東	1982	富田東小学校余裕教室 70
65	富田東児童館児童クラブ	富田東	2002	富田東児童館内 128
66	富田西児童クラブ A	富田西	1972	富田西小学校余裕教室 70
67	富田西児童クラブ B	富田西	1972	富田西小学校余裕教室 70
68	福川児童クラブ	福川	1966	福川小学校余裕教室 75

表 8-13 施設一覧表(こども関連施設 児童園、児童クラブ、児童館) 2/2

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
69	福川南児童クラブ	福川南	2005	福川南児童館内 90
70	大河内児童クラブ	大河内	1980	大河内小学校余裕教室 64
71	高水児童クラブ	高水	1982	高水小学校余裕教室 65
72	(新規)今宿小校区児童クラブ A	今宿	1976	今宿小学校余裕教室 65
73	(新規)今宿小校区児童クラブ B	今宿	1976	今宿小学校余裕教室 66
74	(新規)桜木小校区児童クラブ B	桜木	1989	桜木小学校余裕教室 66
No.	白書時点から削減した施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
	尚白園児童クラブ (H25 今宿小学校内に機能を移転)	今宿	1971	尚白園内 94

8.5.2 取組み方策の選定

(1) 幼稚園、保育所

【サービス提供の方向性】【建物の方向性】

平成 22 年 4 月に策定した「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」及びそれに基づき平成 25 年 8 月に策定した「周南市公立幼稚園の再編整備について」及び「周南市公立保育所の再編整備について」に従い、再配置を進めます。

【既に一定の方向性を示した施設と、取組み方策】

- ・今宿幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・湯野幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合（H27. 4）
- ・桜田幼稚園 ⇒ 湯野幼稚園、夜市幼稚園を桜田幼稚園に統合（H27. 4）
- ・夜市幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合（H27. 4）
- ・周栄幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・楠木幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・富田西幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・第一保育園 ⇒ 飯島保育園と統合、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・飯島保育園 ⇒ 第一保育園と統合、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・周央保育園 ⇒ 再編整備、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・福川保育園 ⇒ 若山保育園と統合のため廃止（H27）
- ・若山保育園 ⇒ 福川保育園を統合、民間事業者による建て替え整備（H28）

(2) 児童園、児童クラブ、児童館等

【サービス提供の方向性】

少子化対策、子育て支援、良好な子どもの遊び場の確保という観点から、これらの子育て支援機能は必要なサービスなので、維持します。

【建物の方向性】

本市において、児童園、児童クラブ、児童館等については、他施設と複合化して設置している場合が多く、引き続き、複合化（集約化）について検討します。

今後の利用者・対象者の減少が見込まれる場合は、統廃合又は継続利用（規模縮小）について検討します。

施設整備当時と状況が変化し、加えて、建設後 30 年以上経過している施設は、廃止について検討します。

【既に決定している計画等】

- ・鼓南児童園 ⇒ 平成 27 年度末で廃止予定

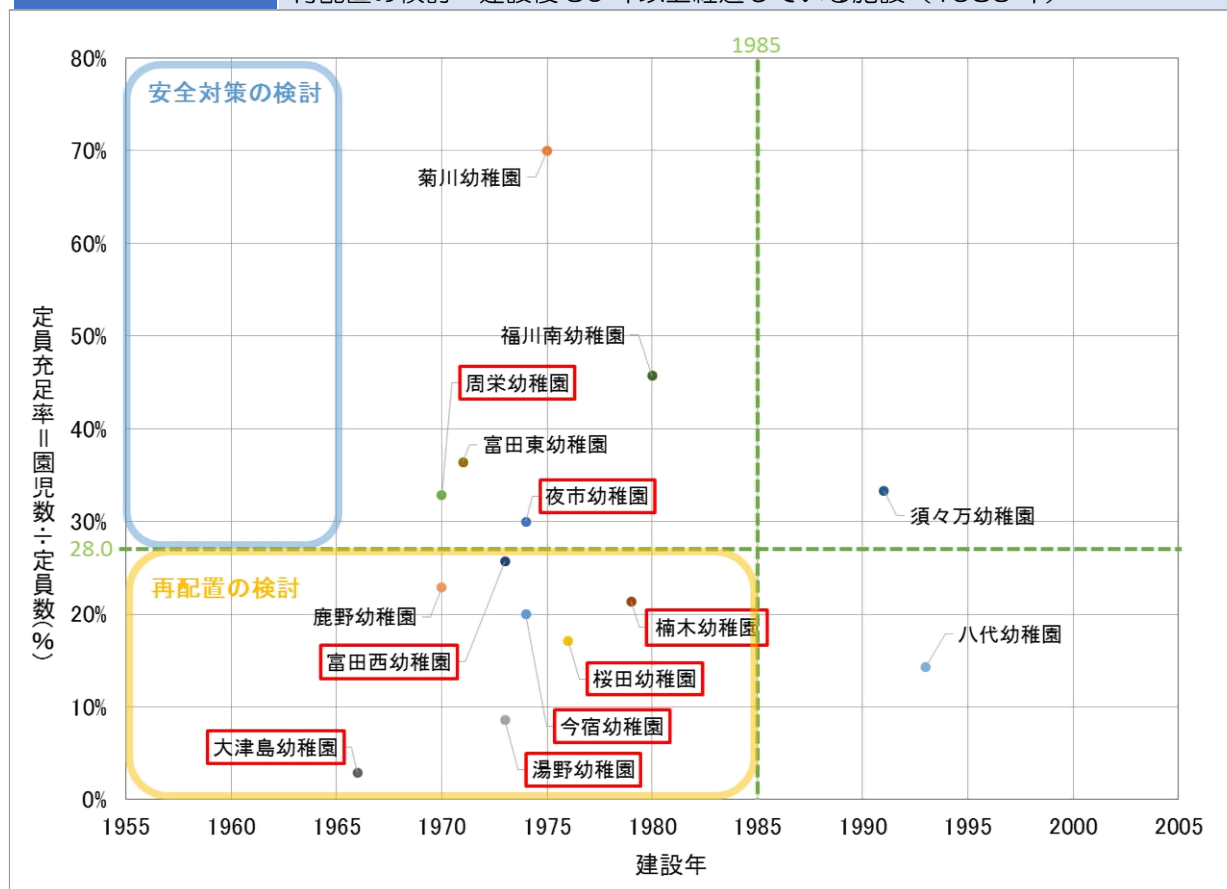
8.5.3 優先的に検討すべき施設の抽出

(1) 建物の方向性(建築経過年数、耐震性能(IS 値))

- ・「既存の建物を現状のままサービス提供に利用できるか」という視点。

【幼稚園(建築経過年)]

指標名	内容
定員充足率(%)	利用者数÷定員数 サービス水準：関連施設の平均充足率 ※(28.0%)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



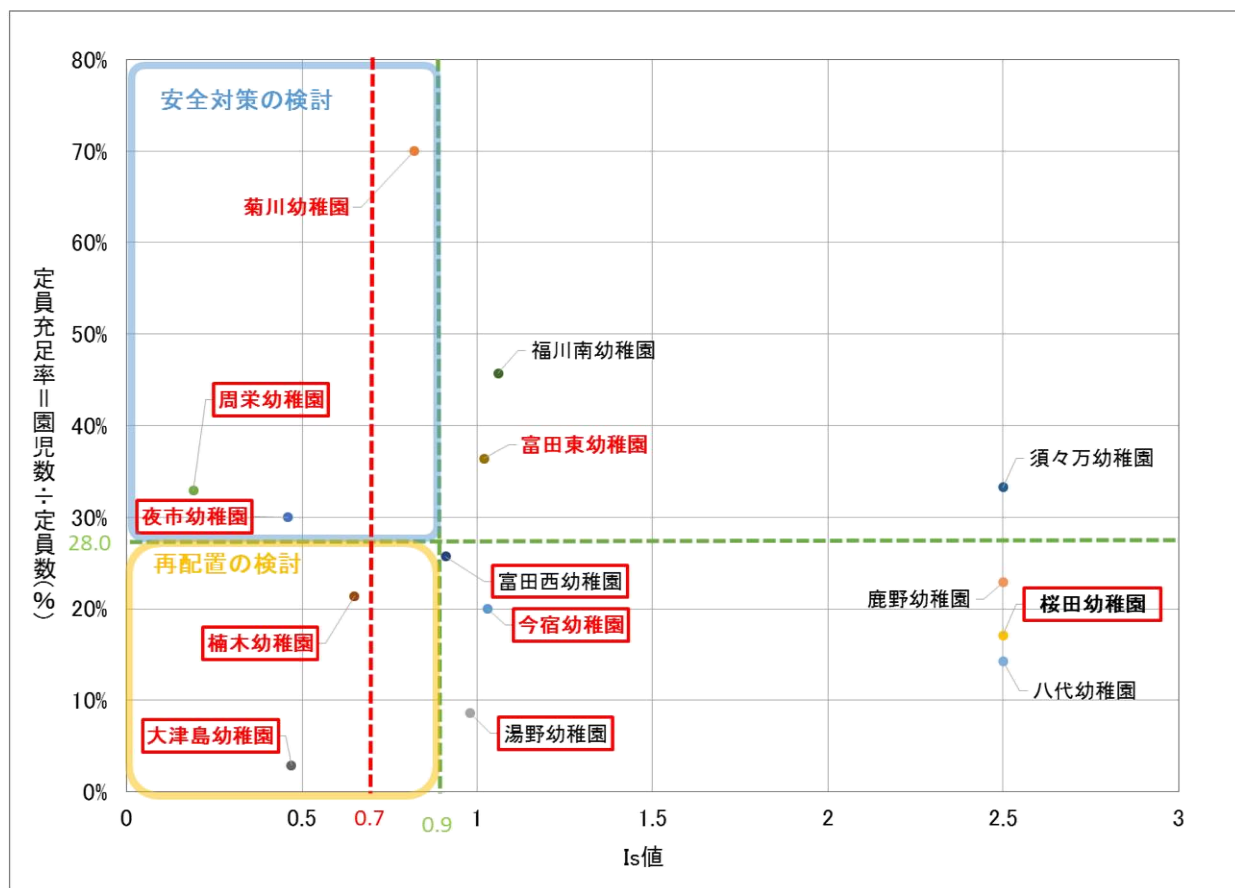
※幼稚園の閾値については、利用対象が類似している「児童園」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・今宿幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・湯野幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合 (H27. 4)
- ・桜田幼稚園 ⇒ 湯野幼稚園、夜市幼稚園を桜田幼稚園に統合 (H27. 4)
- ・夜市幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合 (H27. 4)
- ・周栄幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・楠木幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・富田西幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・大津島幼稚園 (小学校) ⇒ H27 耐震改修実施予定

【幼稚園(耐震性能(Is 値))】

指標名	内容
定員充足率 (%)	利用者数÷定員数 サービス水準：関連施設の平均充足率※ (28.0%)
Is 値	耐震基準を表す値で、値が大きくなるほど耐震性能が高い。 安全の判定基準： (一次診断) Is 値 ≥ 0.9 (二次診断) : Is 値 ≥ 0.7



※幼稚園の閾値については、利用対象が類似している「児童園」の値と通算し、その平均値を用いる。

※第二次診断を実施している施設は、施設名を赤字で示している。

※新耐震基準の施設は、十分な耐震性能を有していると判断し、Is 値を 2.5 として検討する。

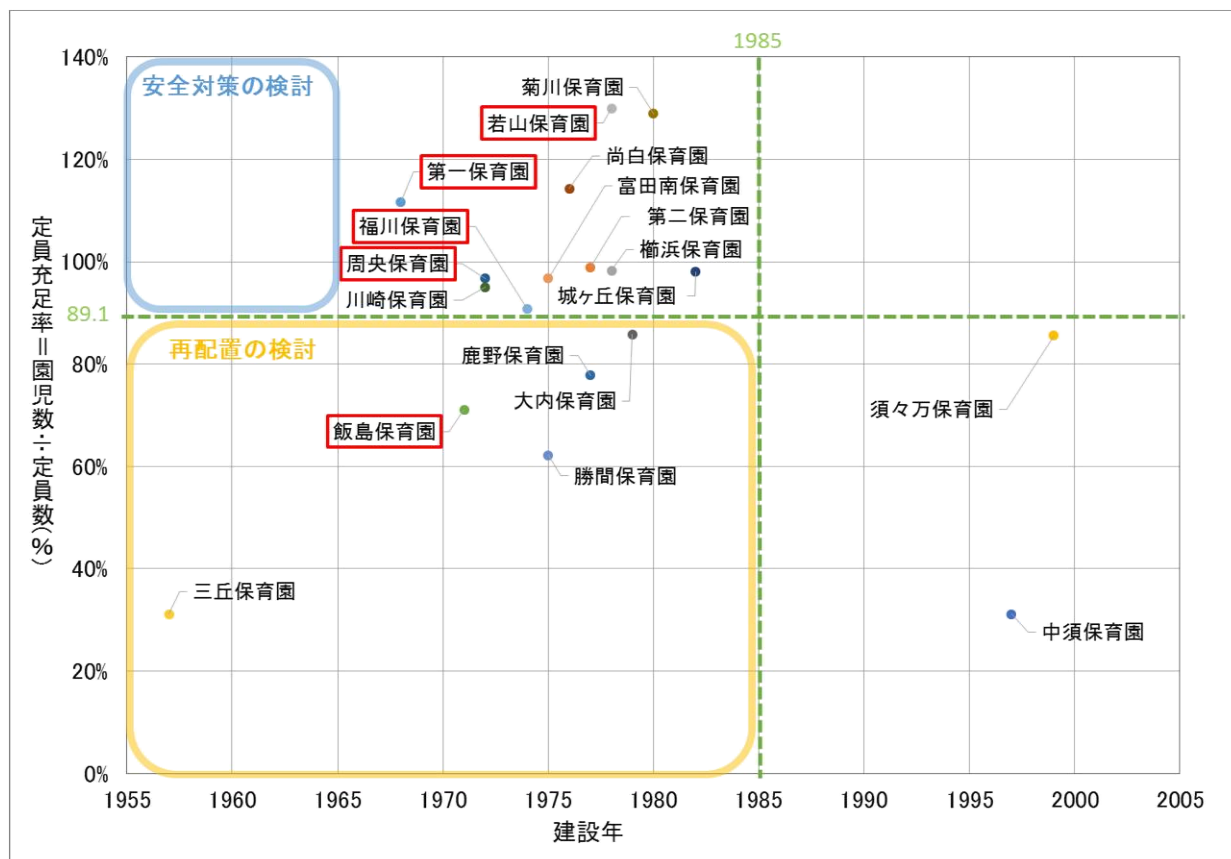
※桜田幼稚園と鹿野幼稚園は、耐震改修工事を実施しているため、耐震性能を十分確保していると判断し、Is 値を 2.5 として検討する。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・今宿幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・湯野幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合 (H27. 4)
- ・桜田幼稚園 ⇒ 湯野幼稚園、夜市幼稚園を桜田幼稚園に統合 (H27. 4)
- ・夜市幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合 (H27. 4)
- ・周栄幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・楠木幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・富田西幼稚園 ⇒ 廃園 (H27. 3)
- ・大津島幼稚園 (小学校) ⇒ H27 耐震改修実施予定

【保育所(建築経過年)】

指標名	内容
定員充足率(%)	利用者数÷定員数 サービス水準：89.1%
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設（1965 年） 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設（1985 年）

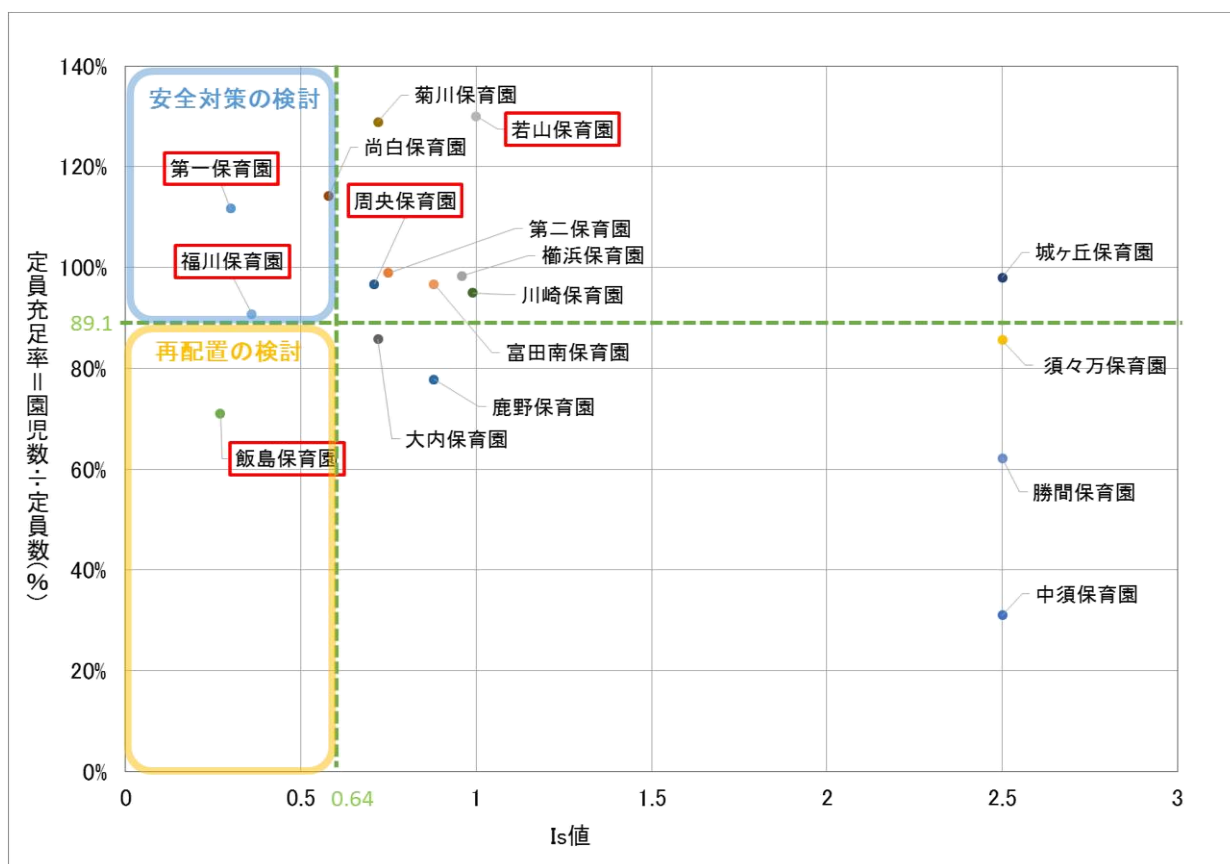


以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・ 第一保育園 ⇒飯島保育園と統合、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・ 飯島保育園 ⇒第一保育園と統合、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・ 周央保育園 ⇒再編整備、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・ 福川保育園 ⇒若山保育園と統合のため廃止（H27）
- ・ 若山保育園 ⇒福川保育園を統合、民間事業者による建て替え整備（H28）

【保育所(耐震性能(Is 値))】

指標名	内容
定員充足率 (%)	利用者数÷定員数 サービス水準：89.1%
Is 値	耐震基準を表す値で、値が大きくなるほど耐震性能が高い。 安全の判定基準： (一次診断) Is 値≧0.64



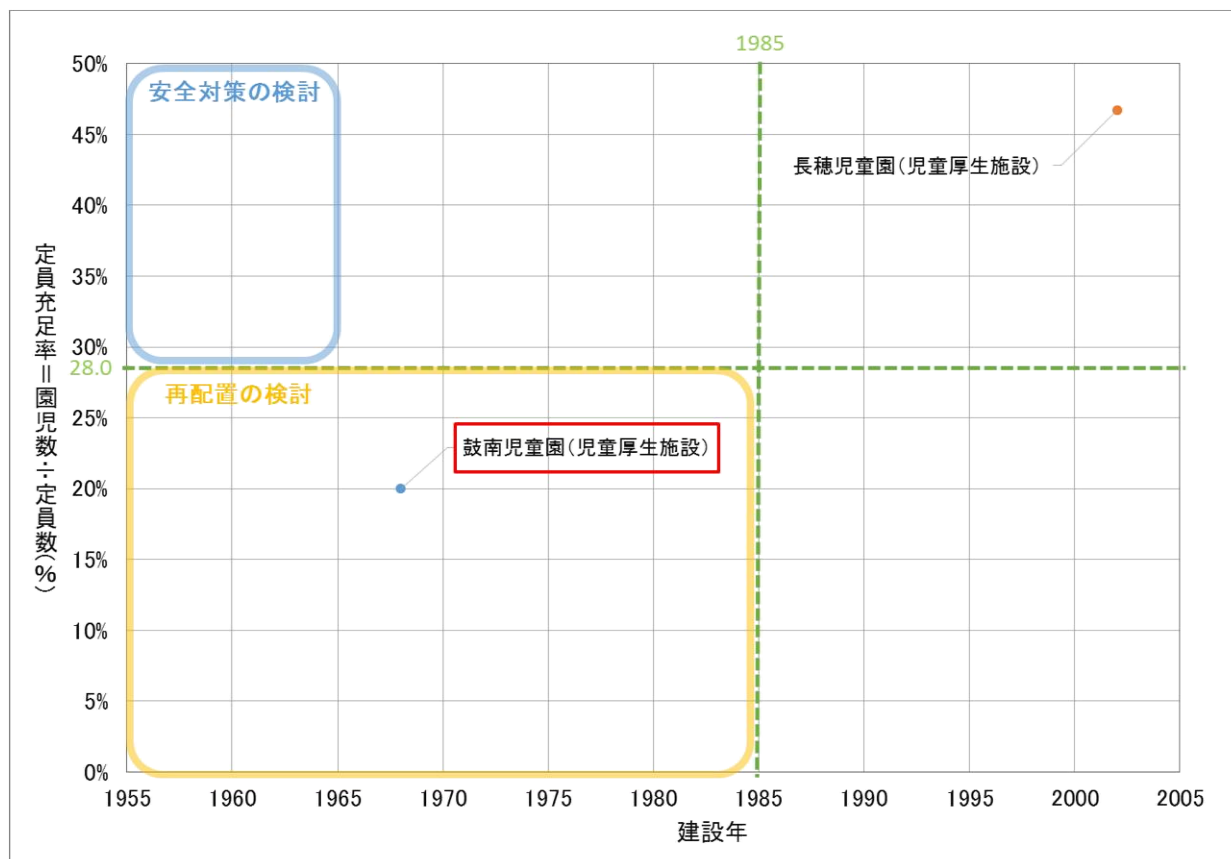
※新耐震基準の施設は、十分な耐震性能を有していると判断し、Is 値を 2.5 として検討する。
 ※勝間保育園については、新耐震基準による大規模改修工事を実施しているため、耐震性能を十分確保していると判断し、Is 値を 2.5 として検討する。
 ※三丘保育園については耐震診断を未実施のため、対象外とする。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・第一保育園 ⇒飯島保育園と統合、民間事業者による建て替え整備 (H29)
- ・飯島保育園 ⇒第一保育園と統合、民間事業者による建て替え整備 (H29)
- ・周央保育園 ⇒再編整備、民間事業者による建て替え整備 (H29)
- ・福川保育園 ⇒若山保育園と統合のため廃止 (H27)
- ・若山保育園 ⇒福川保育園を統合 (H28)

【児童園(建築経過年)】

指標名	内容
定員充足率 (%)	利用者数÷定員数 サービス水準：関連施設の平均充足率 ※ (28.0%)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設 (1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設 (1985 年)



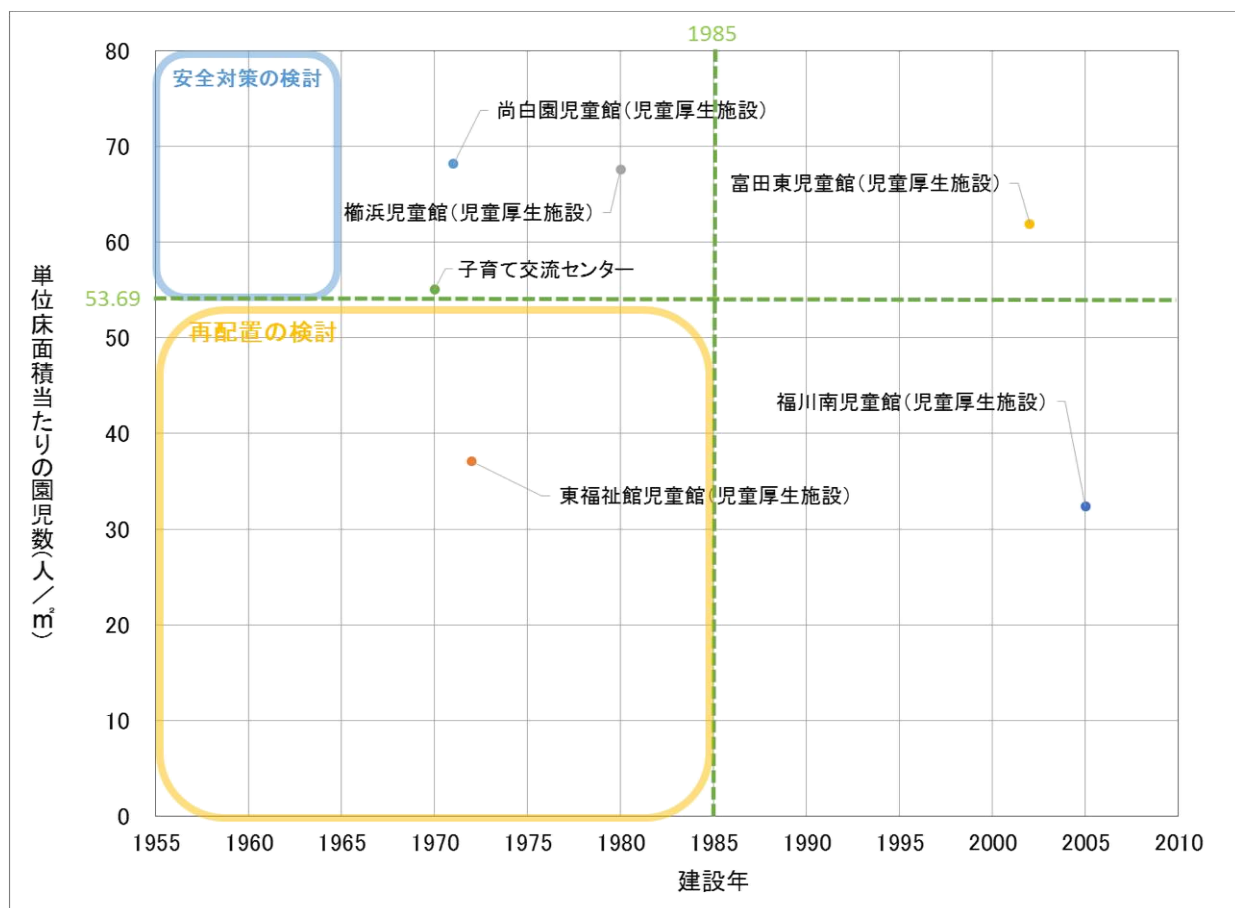
※児童園の閾値については、利用対象が類似している「幼稚園」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・ 鼓南児童園 ⇒平成 27 年度末で廃止予定

【児童館、子育て交流センター(建築経過年)】

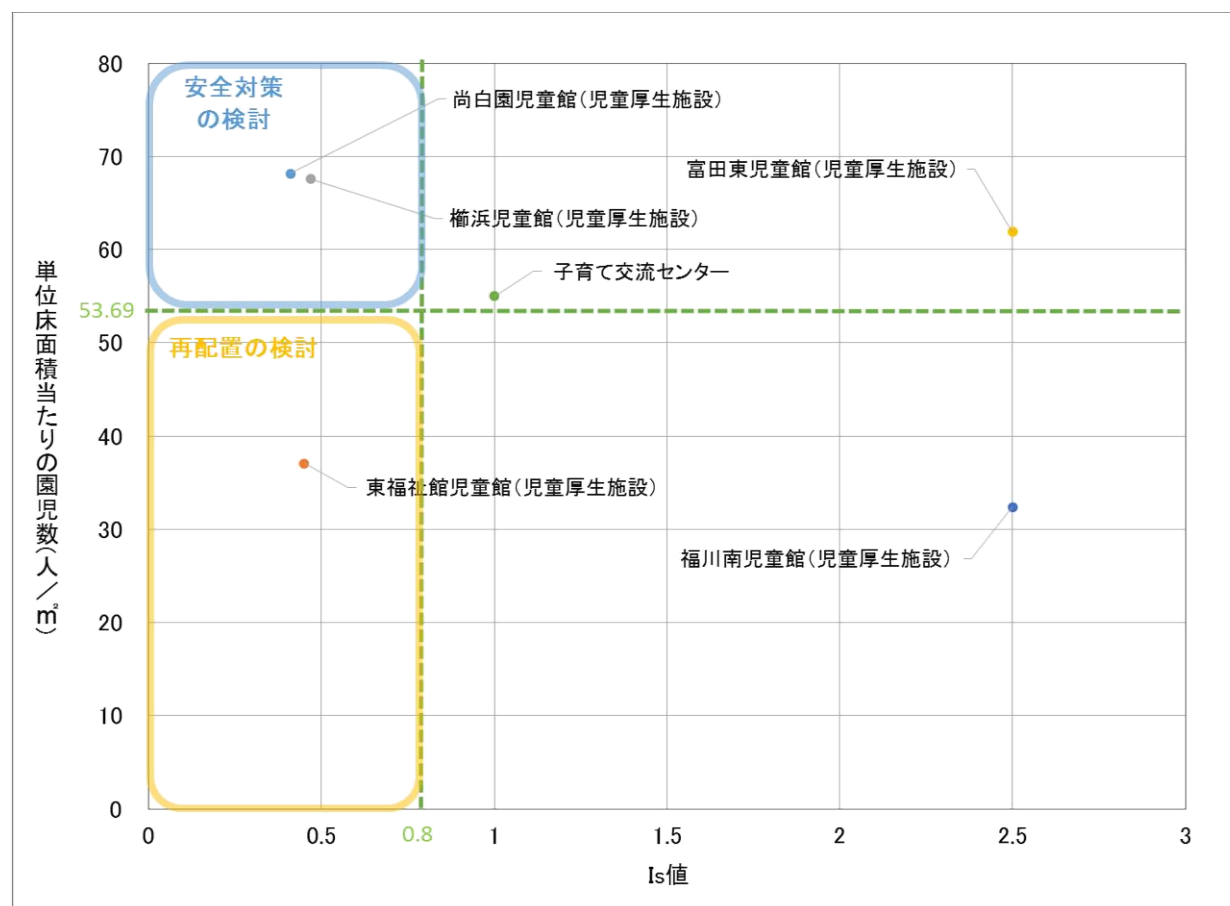
指標名	内容
単位床面積当たりの園児数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均値 ※(53.69(人/㎡))
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



※児童館、子育て交流センターの必要性については、ここでは併せて比較をするものとし、単位床面積当たりの園児数の全体の平均(53.69 人/㎡)を閾値として用いる。

【児童館、子育て交流センター(耐震性能(Is 値))】

指標名	内容
単位床面積当たりの園児数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均値 ※(53.69(人/㎡))
Is 値	耐震基準を表す値で、値が大きくなるほど耐震性能が高い。 安全の判定基準： (一次診断) Is 値 ≥ 0.8

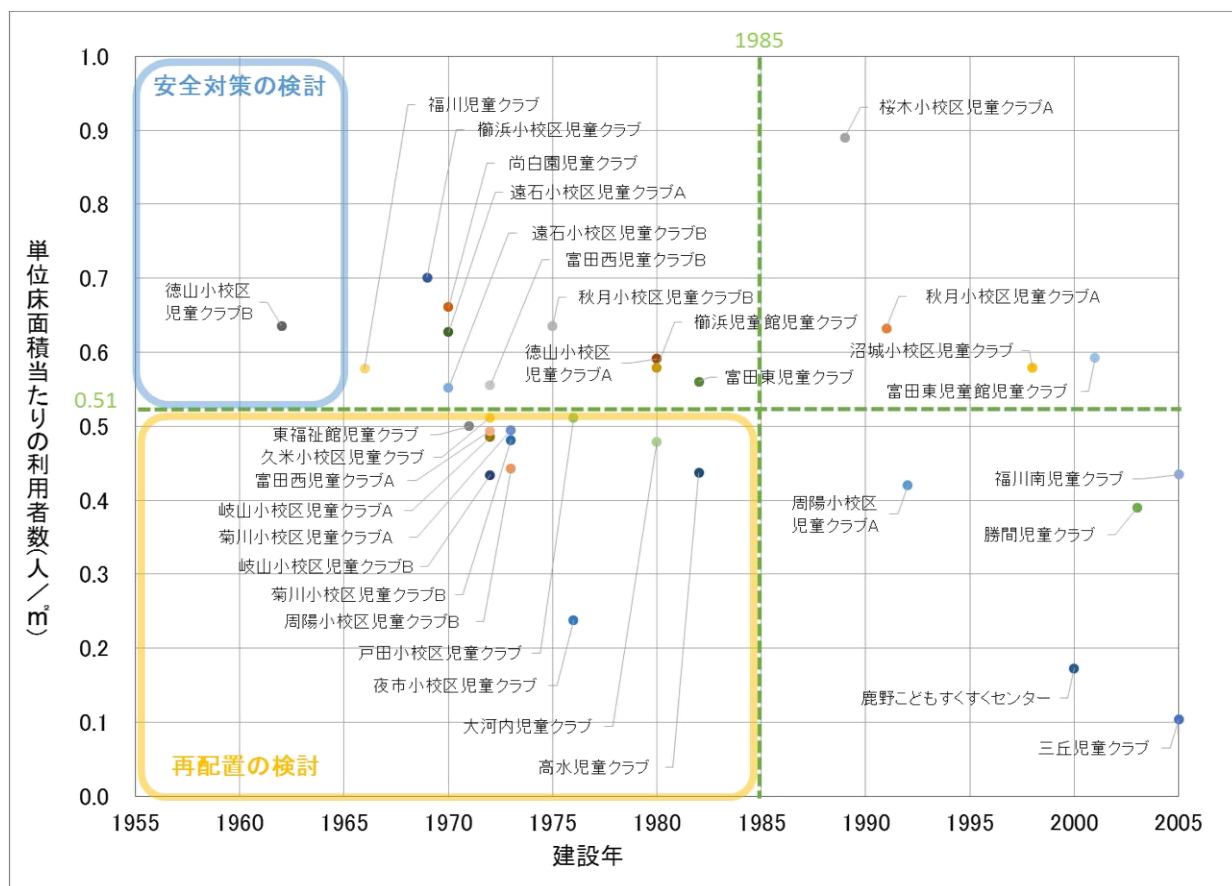


※児童館、子育て交流センターの必要性については、ここでは併せて比較をするものとし、単位床面積当たりの園児数の全体の平均(53.69 人/㎡)を閾値として用いる。

※新耐震基準の施設は、十分な耐震性能を有していると判断し、Is 値を 2.5 として検討する。

【児童クラブ(建築経過年)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：0.513(人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準：1985年(建設後30年以上経過)



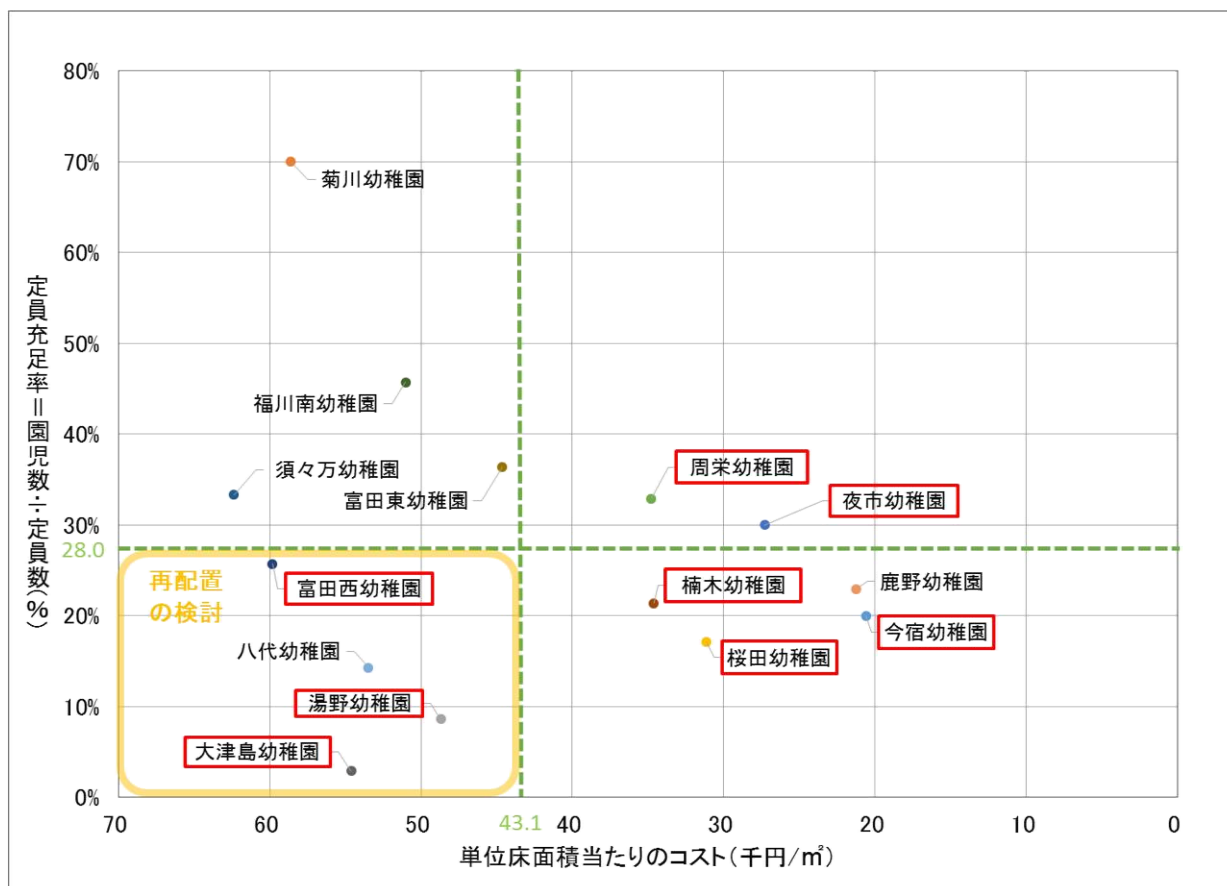
※尚白園児童クラブは、平成25年4月より今宿小学校内に移転したため、対象外とする。

(2) サービスの方向性

- ・「既存の提供サービスを継続させることが妥当か」という視点

【幼稚園】

指標名	内容
定員充足率（％）	利用者数÷定員数 サービス水準：28.0％
単位床面積当たりのコスト （千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（43.1 千円/㎡）



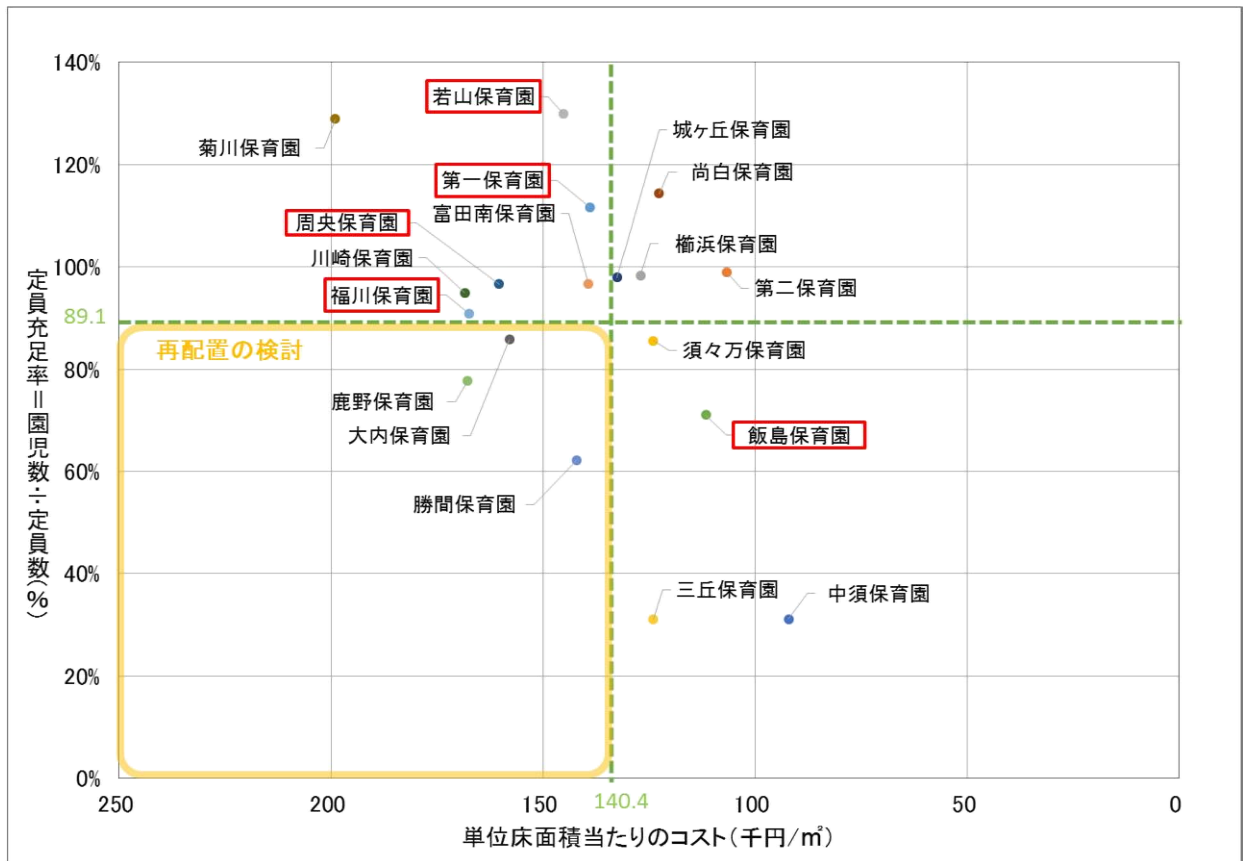
※幼稚園の閾値については、利用対象が類似している「児童園」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・今宿幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・湯野幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合（H27. 4）
- ・桜田幼稚園 ⇒ 湯野幼稚園、夜市幼稚園を桜田幼稚園に統合（H27. 4）
- ・夜市幼稚園 ⇒ 桜田幼稚園に統合（H27. 4）
- ・周栄幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・楠木幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・富田西幼稚園 ⇒ 廃園（H27. 3）
- ・大津島幼稚園（小学校） ⇒ H27 耐震改修実施予定

【保育所】

指標名	内容
定員充足率（％）	利用者数÷定員数 サービス水準：89.1％
単位床面積当たりのコスト （千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（140.4 千円/㎡）

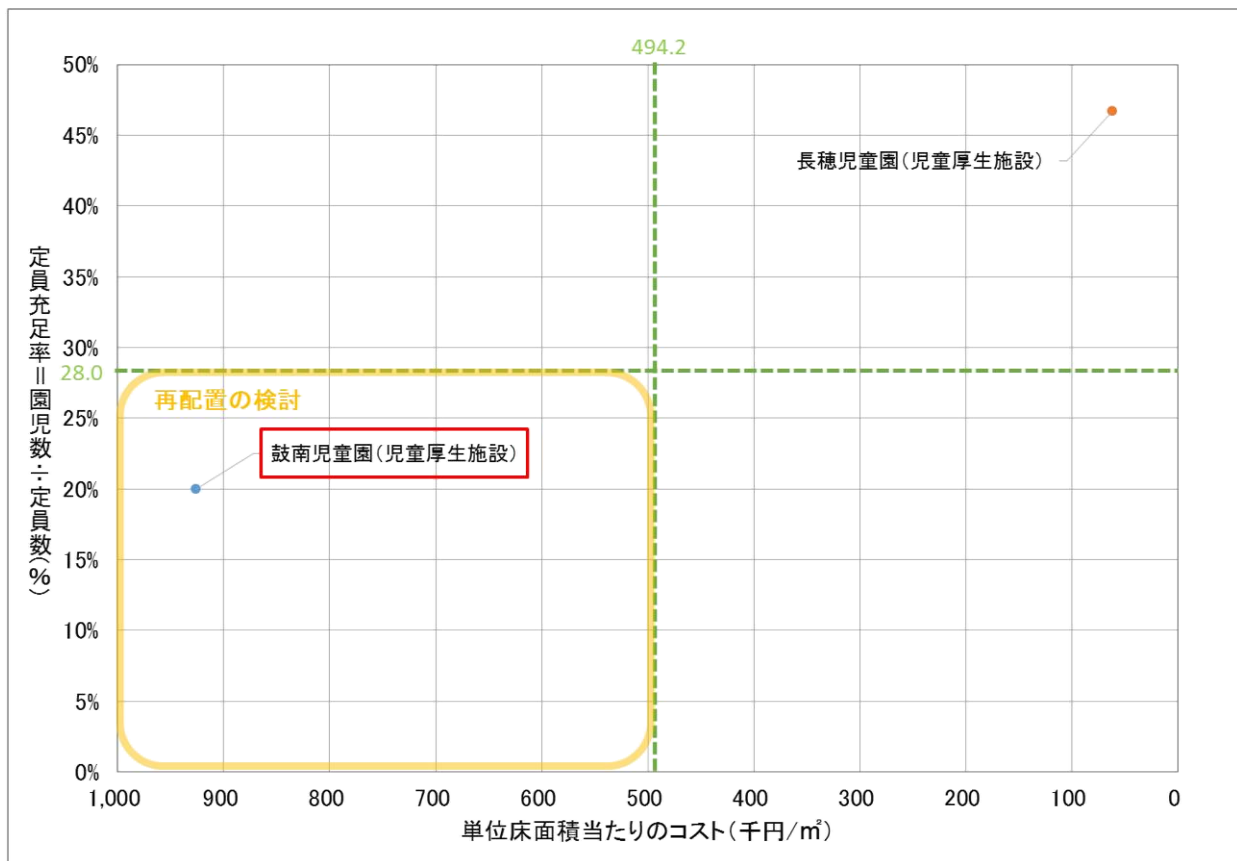


以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・ 第一保育園 ⇒ 飯島保育園と統合、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・ 飯島保育園 ⇒ 第一保育園と統合、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・ 周央保育園 ⇒ 再編整備、民間事業者による建て替え整備（H29）
- ・ 福川保育園 ⇒ 若山保育園と統合のため廃止（H27）
- ・ 若山保育園 ⇒ 福川保育園を統合、民間事業者による建て替え整備（H28）

【児童園】

指標名	内容
定員充足率（％）	利用者数÷定員数 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※（28.0％）
単位床面積当たりのコスト （千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（494.2 千円/㎡）



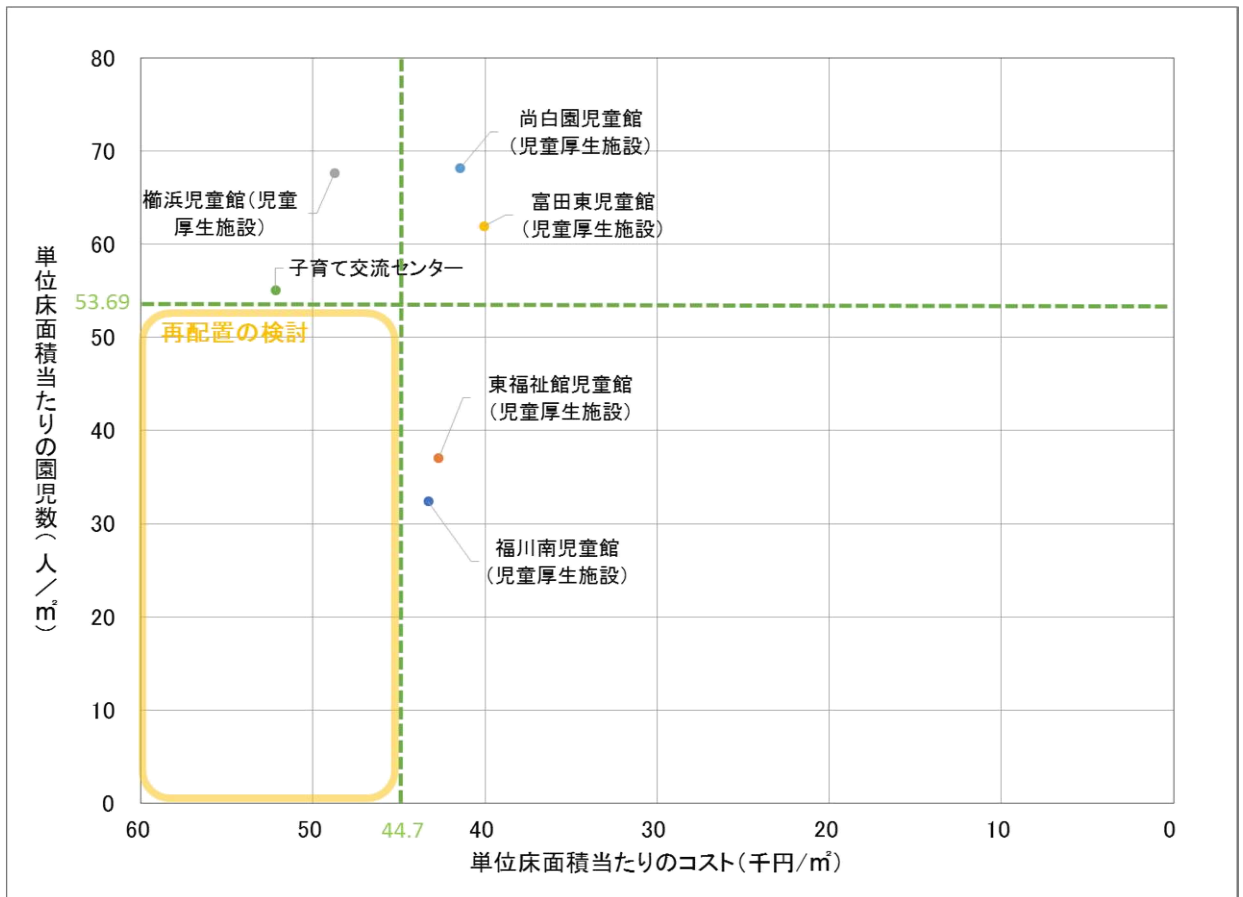
※児童園の閾値については、利用対象が類似している「幼稚園」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・ 鼓南児童園 ⇒平成 27 年度末で廃止予定

【児童館、子育て交流センター】

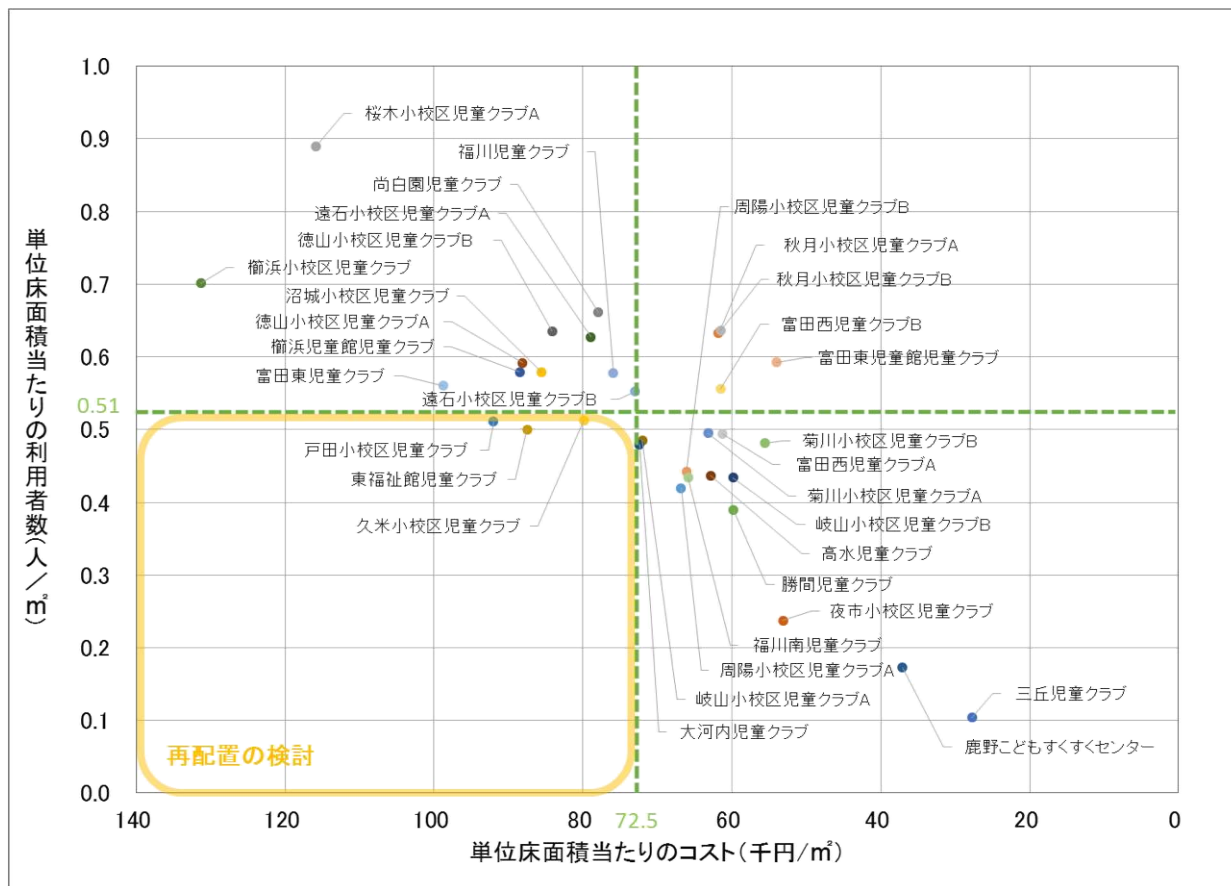
指標名	内容
単位床面積当たりの園児数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均値 ※（53.69（人/㎡））
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：平均当たりのコスト（44.7 千円/㎡）



※児童館、子育て交流センターの必要性については、ここでは併せて比較をするものとし、単位床面積当たりの園児数の全体の平均（53.69 人／㎡）を閾値として用いる。

【児童クラブ】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者÷延床面積 サービス水準：0.51（人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（72.5 千円/㎡）



(3) 優先的に検討すべき施設

【優先的に検討すべき施設の抽出結果】

- ・◎：全 74 施設中、4 施設
- ・○：全 74 施設中、6 施設
- ・△：全 74 施設中、12 施設
- ・▲：全 74 施設中、7 施設

記号の見かたは 75 ページ参照（優先度：◎＞○＞△＞▲）

【幼稚園】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
1	今宿幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
2	菊川幼稚園							
3	湯野幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
4	桜田幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
5	夜市幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
6	周栄幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
7	須々万幼稚園							▲
8	楠木幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
9	大津島幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
10	富田東幼稚園							
11	富田西幼稚園	有	-	-	-	-	-	-
12	福川南幼稚園							
13	八代幼稚園				該当			▲
14	鹿野幼稚園		該当					△

※「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」及び「周南市公立幼稚園の再編整備について」の、第二次ステップに記載されている幼稚園を総合評価に反映し、優先して検討すべき施設とした。

【保育所】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
15	第一保育園	有	-	-	-	-	-	-
16	第二保育園							▲
17	櫛浜保育園							▲
18	須々万保育園							
19	中須保育園							
20	飯島保育園	有	-	-	-	-	-	-
21	周央保育園	有	-	-	-	-	-	-
22	尚白保育園						該当	◎
23	大内保育園		該当		該当			○
24	菊川保育園							
25	城ヶ丘保育園							▲
26	川崎保育園							▲
27	福川保育園	有	-	-	-	-	-	-
28	富田南保育園							▲
29	若山保育園	有	-	-	-	-	-	-
30	三丘保育園		該当					△
31	勝間保育園		該当		該当			○
32	鹿野保育園		該当		該当			○

※「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」及び「周南市公立保育所の再編整備について」の都市地域における公立保育所の再編整備を反映し、優先して検討すべき施設とした。

※第二保育園については、2棟のうち1棟が耐震第1次診断で耐震性が無いと判定されたため、優先的に検討すべき施設とする。

【児童園】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービ スの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is値		建設年	Is値	
33	鼓南児童園	有	-	-	-	-	-	-
34	長穂児童園							

【児童館、子育てセンター】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
35	尚白園児童館						該当	◎
36	東福祉館児童館		該当	該当				△
37	櫛浜児童館						該当	◎
38	富田東児童館							
39	福川南児童館							
40	子育て交流センター							

【児童クラブ】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
41	周陽小校区児童クラブA							
42	秋月小校区児童クラブA							
43	桜木小校区児童クラブA							
44	沼城小校区児童クラブ							
45	三丘児童クラブ							
46	勝間児童クラブ							
47	鹿野こどもすくすくセンター							
48	徳山小校区児童クラブA							
49	徳山小校区児童クラブB					該当		◎
50	岐山小校区児童クラブA		該当					△
51	岐山小校区児童クラブB		該当					△
52	遠石小校区児童クラブA							
53	遠石小校区児童クラブB							
54	周陽小校区児童クラブB		該当					△
55	秋月小校区児童クラブB							
56	久米小校区児童クラブ		該当		該当			○
57	菊川小校区児童クラブA		該当					△
58	菊川小校区児童クラブB		該当					△
59	戸田小校区児童クラブ		該当		該当			○
60	夜市小校区児童クラブ		該当					△
61	東福祉館児童クラブ		該当		該当			○
62	櫛浜児童館児童クラブ							
63	櫛浜小校区児童クラブ							
64	富田東児童クラブ							
65	富田東児童館児童クラブ							
66	富田西児童クラブA		該当					△
67	富田西児童クラブB							
68	福川児童クラブ							
69	福川南児童クラブ							
70	大河内児童クラブ		該当					△
71	高水児童クラブ		該当					△
72	(新規)今宿小校区児童クラブA							
73	(新規)今宿小校区児童クラブB							
74	(新規)桜木小校区児童クラブB							
廃止	尚白園児童クラブ	有	-	-	-	-	-	-

8.6 福祉施設

8.6.1 施設概要と課題等

(1) 高齢者施設

本市は高齢者施設として、12 施設を整備しています。12 施設のうち、建築からの経過年数が 30 年以上の施設が 11 施設と老朽化が進んでいます。

今後の高齢者人口の増加を考えると、地区ごとの配置やバランス、公民館などの他の施設利用の可能性なども考慮しつつ、適宜、必要な改修、更新を行っていく必要があります。

和田老人憩の家・作業所、福川シニア交流会館及びふれあいプラザきくがわについては直営、徳山社会福祉センター等は指定管理者制度を採用しています。

表 8-14 施設一覧表(福祉施設 高齢者施設)

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
1	徳山社会福祉センター	遠石	1982	2,641
2	新南陽総合福祉センター	富田東	1995	1,958
3	嶽山荘	富田西	1973	1,385
4	軽費老人ホームきずな苑	遠石	1982	2,216
5	西部老人憩の家	今宿	1979	119
6	久米老人憩の家	久米	1980	119
7	和田老人憩の家・作業所	和田	1980	213
8	新南陽老人福祉センター	富田西	1979	712
9	三世代交流センター	富田西	1984	借家 688
10	福川シニア交流会館	福川	1969	263
11	ふれあいプラザきくがわ	菊川	1972	菊川公民館併設 70
12	鹿野高齢者生産活動センター	鹿野	1979	942

(2) 介護保険施設

高齢者人口の増加に比例し、要介護人口の増加が予測されるため、在宅福祉・施設福祉の両面から介護保険施設は必要です。

一定の人口が集中する地域においては、介護保険施設は採算性が見込めるため、民間事業者の積極的な参加が見られます。しかし、中山間部、島しょ部など、高齢者人口の少ない地域や住居が点在する地域において民間参入は難しい状況にあります。

表 8-15 施設一覧表(福祉施設 介護保険施設)

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
13	鼓海園老人デイサービスセンター	周陽	1989	鼓海園併設 390
14	須金老人デイサービスセンター	須金	1994	356
15	大津島老人デイサービスセンター	大津島	1995	322
16	中央西部老人デイサービスセンター	今宿	1998	482
17	新南陽老人デイサービスセンター	富田東	1995	新南陽総合福祉センター 併設 510
18	特別養護老人ホーム鼓海園	周陽	1974	2,541
19	介護老人保健施設ゆめ風車	富田西	2004	3,797

(3) 障害者福祉施設

障害者福祉施設は、障害福祉サービス等を提供する施設として、本市障害福祉計画に基づき、民間事業者の積極的な協力・参入を得て整備を図っていくものであり、公設の施設は民間の施設を補完するものです。

本市においては、下記の施設を整備しており、近接する新南陽総合福祉センター、新南陽デイサービスセンター（高齢者）の浴室や厨房を共用し、これらの施設との一体的で効率的な利用を行っています。

表 8-16 施設一覧表(福祉施設 障害者福祉施設)

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
20	障害者デイサービスセンター	富田東	2004	241
21	心身障害者福祉作業所つくしの家	富田東	2004	障害者デイサービスセンター内 38

8.6.2 取組み方策の選定

(1) 高齢者施設

【サービス提供の方向性】

高齢化社会のさらなる進展により、ニーズはさらに高まることが見込まれることから、機能は維持していきませんが、民間事業者と競合するものは、原則、民間によるものとします。

運営については、民間のノウハウの活用が期待できるため、指定管理等の導入について引き続き検討します。

施設サービスに対する需要が増大することに伴い、管理運営コストの増加が見込まれるため、施設の維持管理費、人件費、修繕費をトータルで見直すなどより一層の効率化を図るとともに、受益者負担の見直しについても検討します。

【建物の方向性】

ニーズが高く、建設年が新しい施設については、継続利用（現状維持）の方向で検討します。

他自治体では、こども関連施設等と併設されている事例もあるため、建築から30年以上経過し、建物が老朽化している施設は、更新の際に複合化（集約化）について検討します。

老人憩の家で、利用実態が自治会集会所と同様な施設については、当該施設の大規模改修や更新に合わせて、地元への譲渡も検討することとします。その場合、建築から30年以上経過し、建物が老朽化している施設の整備に係る経費については、現行の自治会集会所に対する補助制度の拡充で対応することを検討します。

【既に決定している計画等】

- ・なし

(2) 介護保険施設

【サービス提供の方向性】【建物の方向性】

利用圏域内に民間施設が存在し、民間事業者においてニーズに応えられる場合は、公民の役割分担のもとに廃止または民間譲渡について検討します。また、周辺に民間施設が存在しない場合はニーズの動向に注目しながら、継続利用（現状維持）または民間譲渡について検討します。

【既に決定している計画等】

- ・ 鼓海園老人デイサービスセンター ⇒ 社会福祉事業団による鼓海園建設に伴い民営化（平成27年度）
- ・ 特別養護老人ホーム鼓海園 ⇒ 社会福祉事業団による鼓海園建設に伴い建物を廃止（平成27年度）

(3) 障害者福祉施設

【サービス提供の方向性】【建物の方向性】

建築からの経過年が10年と比較的新しい施設であり、継続利用（現状維持）の方向で検討を行います。

【既に決定している計画等】

- ・なし

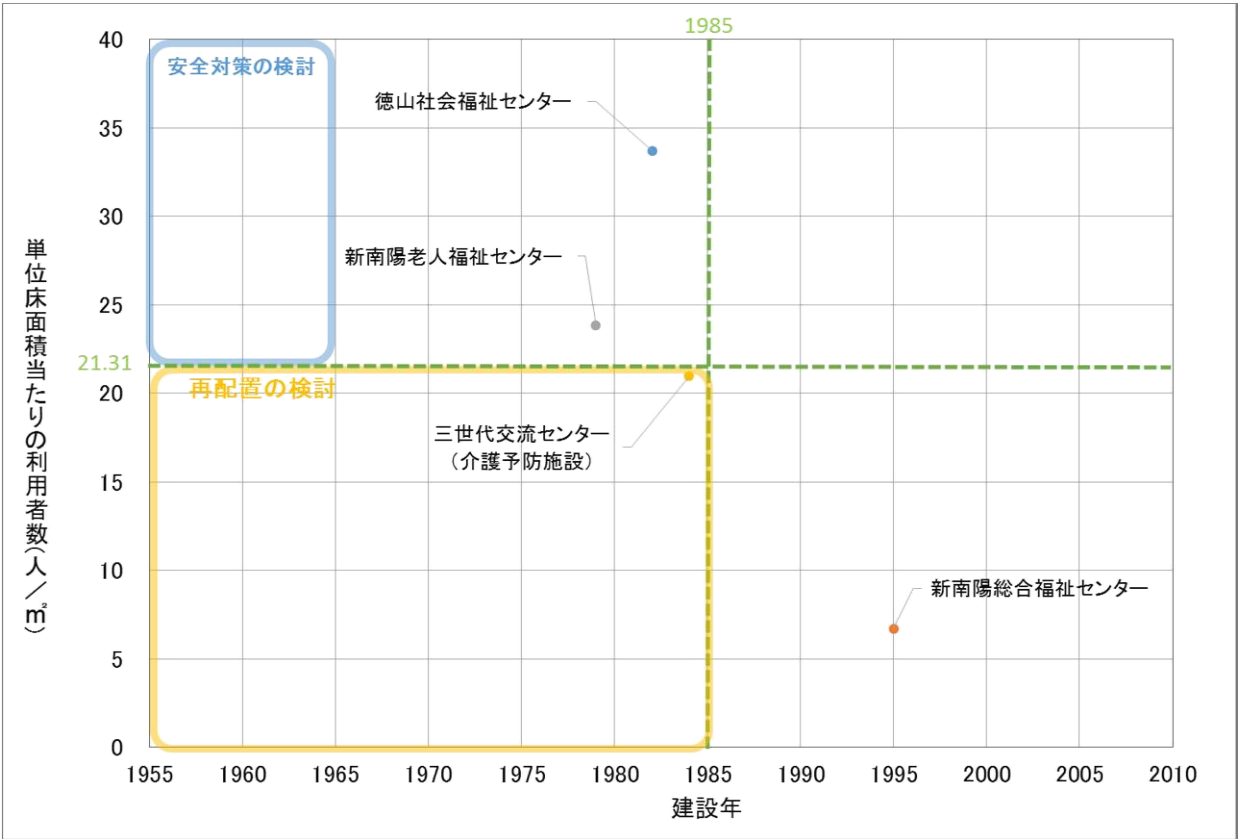
8. 6. 3 優先的に検討すべき施設の抽出

(1) 建物の方向性(建築経過年数)

- 「既存の建物を現状のままサービス提供に利用できるか」という視点

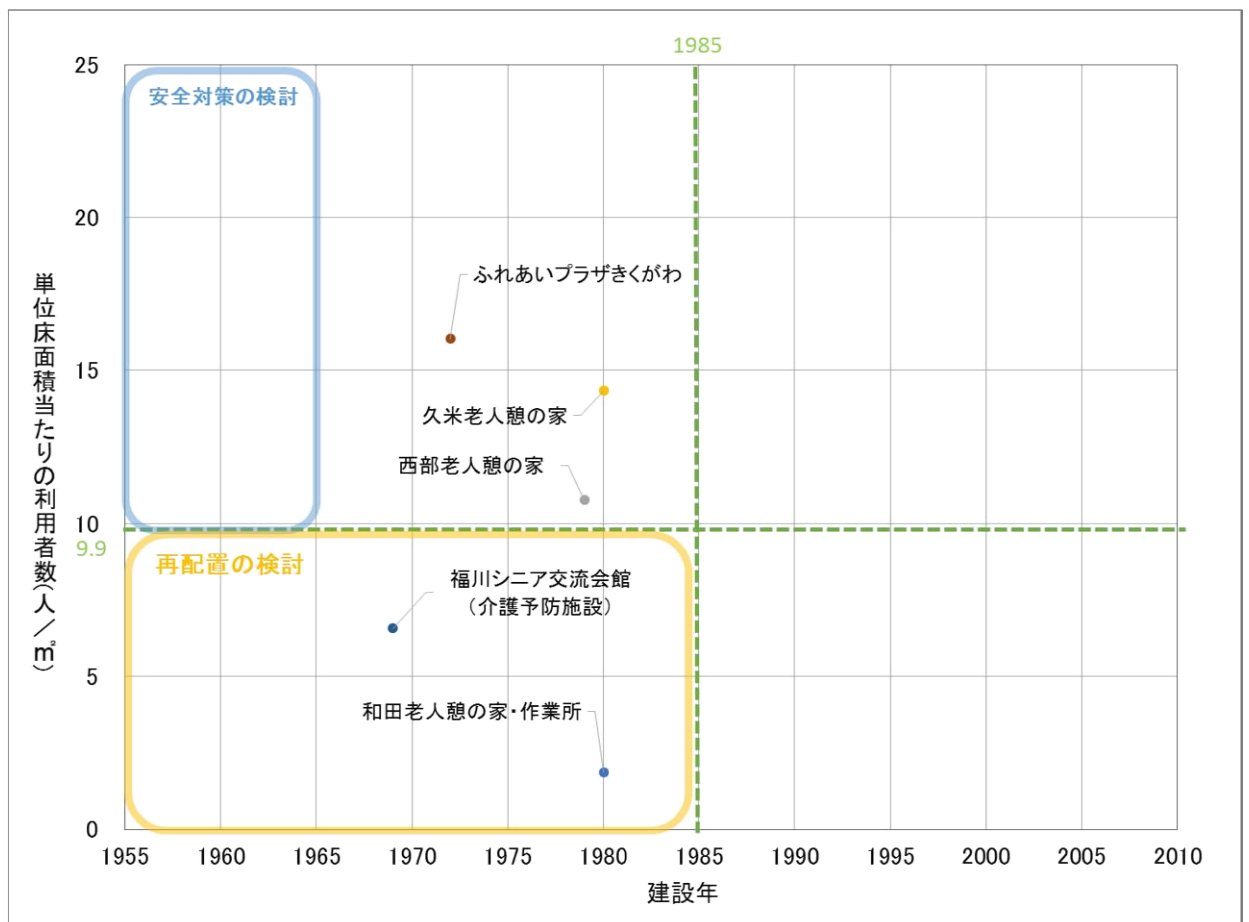
【高齢者施設(福祉センター)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者÷延床面積
	サービス水準：21.31(人/㎡)
建設年	建物の建設年
	※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価
	安全性水準：
	安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年)
	再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



【高齢者施設(老人憩の家)】

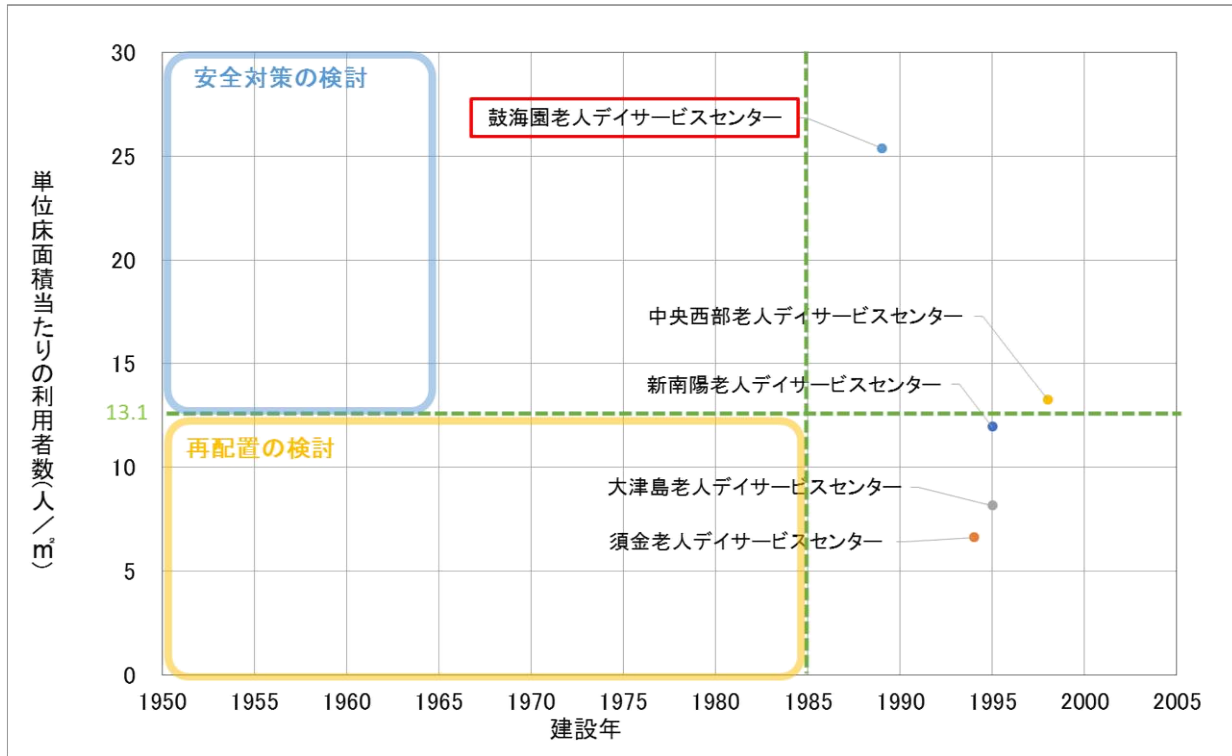
指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者÷延床面積 サービス水準：9.9(人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後50年以上経過している施設(1965年) 再配置の検討：建設後30年以上経過している施設(1985年)



※老人憩の家の閾値については、同類のサービスを提供している「福川シニア交流会館(介護予防施設)、ふれあいプラザきくがわ」の値と通算し、その平均値を用いる。

【介護保険施設(老人デイサービスセンター)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者÷延床面積 サービス水準：13.1(人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後50年以上経過している施設(1965年) 再配置の検討：建設後30年以上経過している施設(1985年)



以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

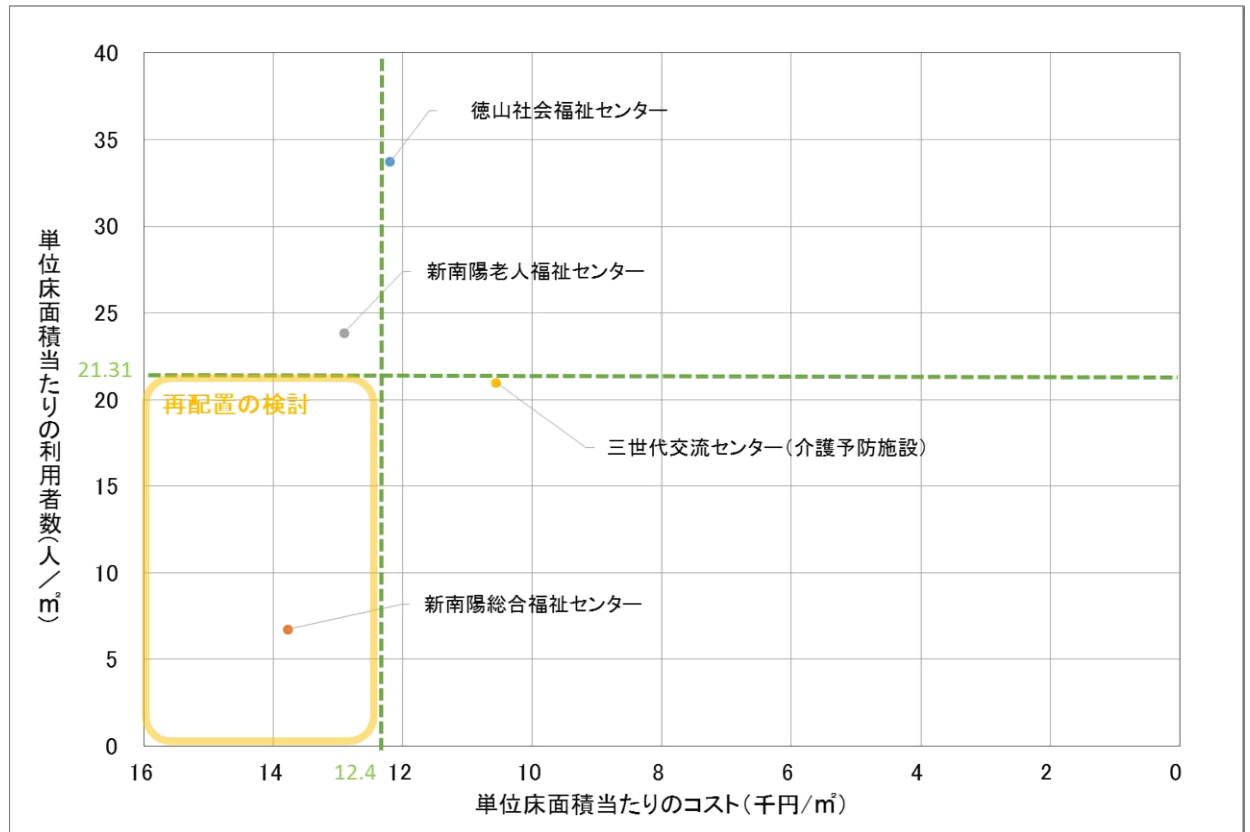
- 鼓海園老人デイサービスセンター ⇒社会福祉事業団によるつづみ園建設に伴い民営化(平成27年度)

(2) サービスの方向性

- ・「既存の提供サービスを継続させることが妥当か」という視点

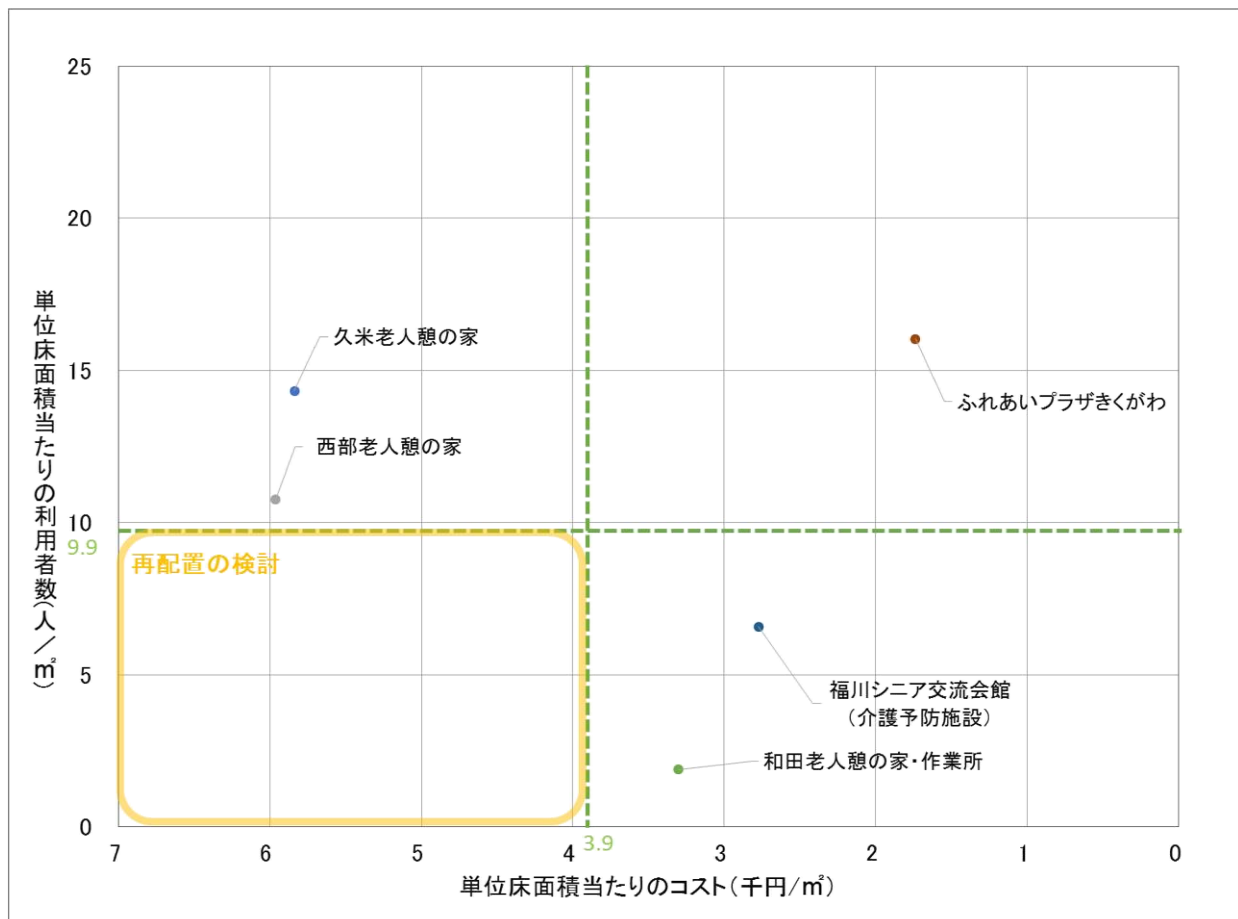
【高齢者施設(福祉センター)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者÷延床面積 サービス水準：21.31(人/㎡)
単位床面積当たりのコスト(千円/㎡)	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト(12.4千円/㎡)



【高齢者施設（老人憩の家）】

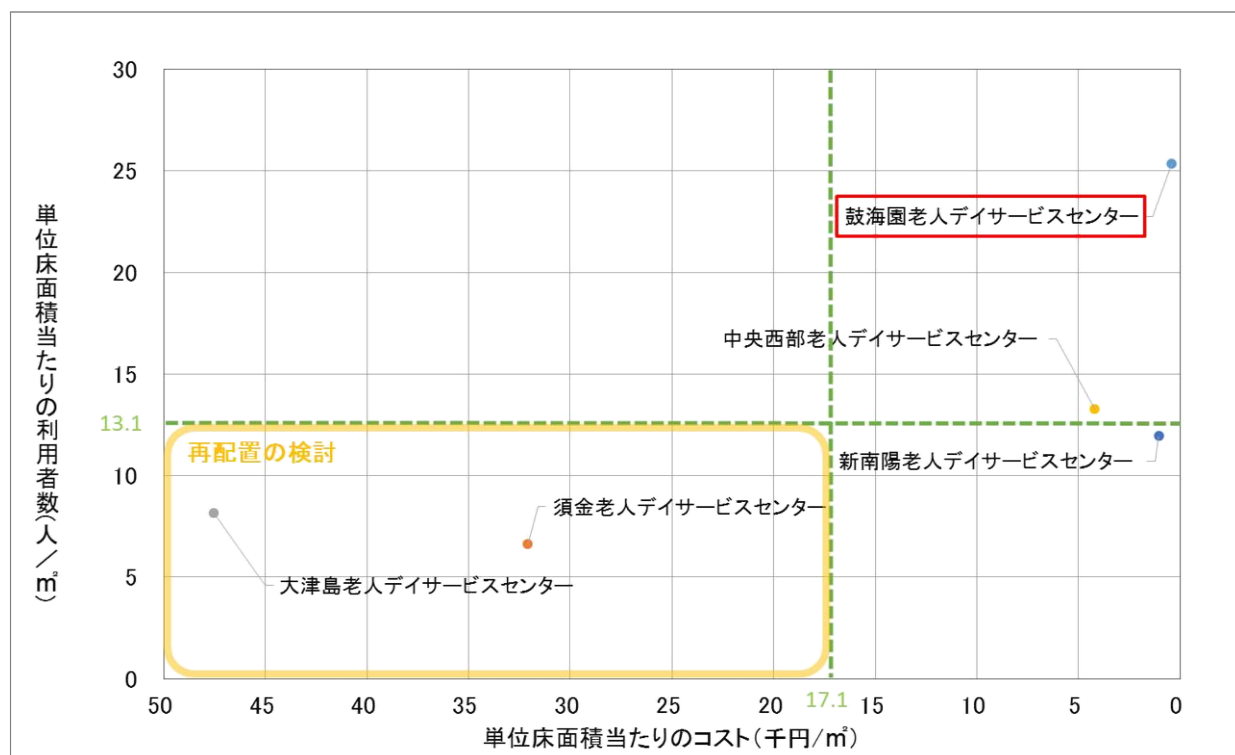
指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者÷延床面積 サービス水準：9.9（人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（3.9 千円/㎡）



※老人憩の家の閾値については、同類のサービスを提供している「福川シニア交流会館（介護予防施設）、ふれあいプラザきくがわ」の値と通算し、その平均値を用いる。

【介護保険施設(老人デイサービスセンター)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者÷延床面積 サービス水準：13.1(人/㎡)
単位床面積当たりのコスト(千円/㎡)	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト(17.1千円/㎡)



以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- 鼓海園老人デイサービスセンター ⇒ 社会福祉事業団によるつづみ園建設に伴い民営化(平成27年度)

(3) 優先的に検討すべき施設

【優先的に検討すべき施設の抽出結果】

- ・◎：全 21 施設中、0 施設
- ・○：全 21 施設中、0 施設
- ・△：全 21 施設中、3 施設
- ・▲：全 21 施設中、3 施設

記号の見かたは 75 ページ参照（優先度：◎＞○＞△＞▲）

【高齢者施設(福祉センター)】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
1	徳山社会福祉センター							
2	新南陽総合福祉センター				該当			▲
8	新南陽老人福祉センター							
9	三世代交流センター		該当					△

【高齢者施設(老人憩の家)】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
5	西部老人憩の家							
6	久米老人憩の家							
7	和田老人憩の家・作業所		該当					△
10	福川シニア交流会館		該当					△
11	ふれあいプラザきくがわ							

【介護保険施設(老人デイサービスセンター)】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
13	鼓海園老人デイサービスセンター	有	-	-	-	-	-	-
14	須金老人デイサービスセンター				該当			▲
15	大津島老人デイサービスセンター				該当			▲
16	中央西部老人デイサービスセンター							
17	新南陽老人デイサービスセンター							

【福祉施設その他】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
3	嶽山荘							
4	軽費老人ホームきずな苑							
12	鹿野高齢者生産活動センター							
18	特別養護老人ホーム鼓海園	有	-	-	-	-	-	-
19	介護老人保健施設ゆめ風車							
20	障害者デイサービスセンター							
21	心身障害者福祉作業所つくしの家							